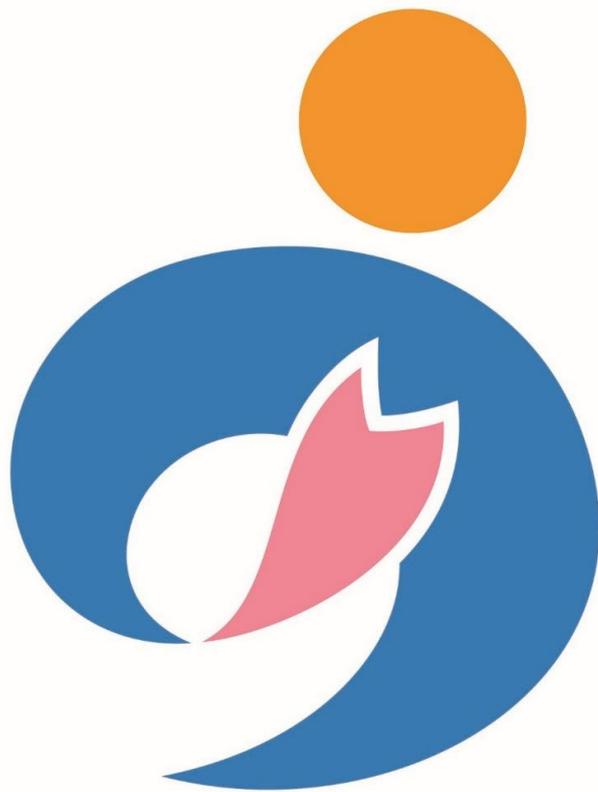


令和6年度 決算事業報告書



未来を創る課



款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	財産管理費	会計名	一般会計	
事業名	8	青年の家管理事業						所属名	未来を創る課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①地域住民 ②青少年 ③施設						総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	①連帯意識の向上のため利用している ②健全に成長するため利用している ③適切に維持管理されている						①開かれた町政と自治協働の推進 「五つの挑戦」から見た位置づけ			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地域の身近な場所に地域活動の拠点となる場所があることで、地域の活動の活発化、活性化が図られる。						⑤行財政改革 根拠法令・要綱等 南部町立上長田、東長田地区集会施設条例			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減						
	790,409 円	904,009 円	113,600 円		14.4 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減		令和6年度	99.89 %			
	794 千円	905 千円	111 千円		14.0 %		執行率				

【事業内容】

東長田青年の家の施設管理を行うもの
平成24年度から南さいはく地域振興協議会が指定管理者となり管理を実施
(指定管理期間: 令和6年4月1日～令和9年3月31日)
(指定管理料: 令和6年度 828,000円)

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

費目	予算	決算	摘要
役務費	8,000	7,369	火災保険料
委託料	828,000	828,000	指定管理料
使用料	69,000	68,640	AED借上料
合計	905,000	904,009	

①成果実績または活動実績

区分	利用者数	利用回数
令和2年度	237 人	33 回
令和3年度	200 人	11 回
令和4年度	149 人	8 回
令和5年度	197 人	14 回
令和6年度	141 人	6 回

利用実績内訳

- ・地域づくり計画説明会(1回 12名)
 - ・まちの保健室(3回、11名)
 - ・選挙投票所(1回、98名)
 - ・ちまき作り(1回、20名)
- (高校生サークル、新☆青年団)

収入実績 施設利用料 0円/年

②成果または活動の問題点

利用者及び利用回数ともに減少傾向にある。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				11 役務費	7,369	7,369
				12 委託料	743,000	828,000
				13 使用料及び賃借料	40,040	68,640
	一般財源	790,409	904,009			
	計	790,409	904,009	計	790,409	904,009

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	東長田地域の活動の場として、南さいはく地域振興協議会による指定管理委託により、引き続き施設の管理を行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	東長田地域の活動の場として活用を行う。
	解決すべき課題への方策	かまくら山荘のオープンにより、利用減が今後も見込まれるため、利用状況、指定管理者の意見を参考に、今後の施設の役割や機能、維持管理の方針を検討していく。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	財産管理費	会計名	一般会計
事業名	9	上長田会館管理事業						所属名	未来を創る課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①地域住民 ②青少年 ③施設					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	①連帯意識の向上のため利用している ②健全に育成するため利用している ③適切に管理されている					①開かれた町政と自治協働の推進 「五つの挑戦」から見た位置づけ			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地域の身近な場所に地域活動の拠点となる場所があることで、地域の活動の活発化、活性化が図られる。					⑤行財政改革 根拠法令・要綱等 南部町立上長田、東長田地区集会施設条例			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		令和6年度執行率	99.97 %			
	1,251,751 円	804,751 円	△ 447,000 円	△ 35.7 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	1,263 千円	805 千円	△ 458 千円	△ 36.3 %						

【事業内容】

上長田会館の施設管理を行うもの
平成24年度から南さいはく地域振興協議会が指定管理者となり管理を実施。
(指定管理期間: 令和6年4月1日～令和9年3月31日)
(指定管理料: 令和6年度 773,000円)

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

費目	予算	決算	摘要
火災保険料	32,000	31,751	建物災害共済
委託料	773,000	773,000	指定管理料
合計	805,000	804,751	

①成果実績または活動実績

区分	利用者数	利用回数
令和2年度	149 人	16 回
令和3年度	429 人	35 回
令和4年度	237 人	18 回
令和5年度	127 人	15 回
令和6年度	119 人	16 回

利用実績内訳

- ・地域づくり計画説明会(1回、12名)
- ・まちの保健室(3回、14名)
- ・西伯病院巡回診療(12回、93名)

収入実績 施設利用料 0円/年

②成果または活動の問題点

利用者が減少傾向にある。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				11 役務費	31,751	31,751
				12 委託料	725,000	773,000
				14 工事請負費	495,000	0
	一般財源	1,251,751	804,751			
	計	1,251,751	804,751	計	1,251,751	804,751

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	上長田地域の活動の場として活用されるよう、南さいはく地域振興協議会による指定管理委託により、引き続き施設の管理を行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	西伯病院巡回診療(12回、93名利用)による、地域住民の健康管理の場としての活用
	解決すべき課題への方策	かまくら山荘のオープンにより、利用減が今後も見込まれるため、利用状況、指定管理者の意見を参考に、今後の施設の役割や機能、維持管理の方針を検討していく。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	財産管理費	会計名	一般会計	
事業名	10	おおくに田園スクエア管理事業					所属名	未来を創る課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①地域住民 ②施設					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	①-1 連帯意識の向上のため利用している ①-2 多様な交流が促進されるために利用している ②適切に管理されている					①開かれた町政と自治協働の推進 「五つの挑戦」から見た位置づけ				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地域の身近な場所に地域活動の拠点となる場所があることで、地域の活動の活発化、活性化が図られる。					⑤行財政改革 根拠法令・要綱等 南部町立おおくに田園スクエア条例、 南部町立おおくに田園スクエア管理規則				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		令和6年度執行率					
	3,497,537 円	3,497,537 円	0 円	0.0 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減							
	3,498 千円	3,498 千円	0 千円	0.0 %							

【事業内容】

おおくに田園スクエア(おおくに山村広場及びおおくにコミュニティ運動施設を含む)の管理を行うもの。
平成22年10月からは大国地域振興協議会が指定管理者となり管理を実施。
(指定管理期間:令和4年4月1日～令和7年3月31日、指定管理料:令和6年度 3,400,000円)

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

費目	予算	決算	摘要
役務費	62,000	61,897	火災保険料
委託料	3,400,000	3,400,000	指定管理料
借上料	36,000	35,640	AED借上料
合計	3,498,000	3,497,537	

①成果実績または活動実績

利用者数(人)	田園スクエア	運動施設	農山村広場	計
令和2年度	2,826	7,603	1,344	11,773
令和3年度	1,785	6,829	1,277	9,891
令和4年度	2,018	6,102	1,086	9,206
令和5年度	2,309	6,636	1,527	10,472
令和6年度	2,586	5,666	1,107	9,359

利用料収入	田園スクエア	運動施設	農山村広場	計
令和2年度	27,150	1,458,260	0	1,485,410
令和3年度	3,400	1,702,710	0	1,706,110
令和4年度	6,230	1,496,730	0	1,502,960
令和5年度	4,210	1,445,465	0	1,449,675
令和6年度	21,630	1,590,275	0	1,611,905

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
20-5-5-1	おおくに田園スクエア自動販売機設置手数料	66,691	75,371	11 役務費	61,897	61,897
				12 委託料	3,400,000	3,400,000
				13 使用料及び賃借料	35,640	35,640
	一般財源	3,430,846	3,422,166			
	計	3,497,537	3,497,537	計	3,497,537	3,497,537

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	大国地域の交流の拠点として活用されるよう、大国地域振興協議会による指定管理委託により、引き続き施設管理を行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	大国地域の地域づくり活動の拠点として、各施設が有効活用されるよう引き続き指定管理者を中心に取り組む。
	解決すべき課題への方策	施設の経年劣化により、田園スクエア内の備品に不具合が出てきているものがあるため、優先順位をつけ、利用に支障のないよう、予算の範囲内で更新等を計画していく。

事業名	10	おおくに田園スクエア管理事業	所属名	未来を創る課
<p>主な利用団体実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○田園スクエア <ul style="list-style-type: none"> ・一般利用:個人会議、企業利用、個人調理室利用 ・減免利用:公民館教室(踊り、編み物)、団体(断酒会、老人クラブ)、まちの保健室、100歳体操、料理サークル ○コミュニティ運動施設 <ul style="list-style-type: none"> ・一般利用:町内外のテニス、フットサルチーム等 ・減免利用:スポnetジュニアチーム、シニアチーム、ゲートボール ○農山村広場 <ul style="list-style-type: none"> ・減免利用:グラウンドゴルフ団体、町内企業・事業所(協議会主催グラウンドゴルフ大会) <p>②成果または活動の問題点 施設の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕が必要。</p>				

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	財産管理費	会計名	一般会計			
事業名	11	東西町振興区事務所(つどい)管理事業					所属名	未来を創る課					
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	東西町地域振興協議会及び地域住民					総合計画における位置づけ						
	意図 (対象をどうするか)	地域住民の地域活動、交流の場の創出となっている。					①開かれた町政と自治協働の推進						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	東西町地域振興協議会の事務所を確保するとともに地域の身近な場所に地域活動の拠点となる場があることで、地域の活動の活発化、活性化が図られる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ						
							⑤行財政改革 根拠法令・要綱等						
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		南部町地域振興区の設置等に関する条例						
	826,217 円	825,564 円	△ 653 円		△ 0.1 %								
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減						令和6年度	98.16 %	
	841 千円	841 千円	0 千円		0.0 %						執行率		

【事業内容】

社会福祉法人伯耆の国の所有する在宅支援ハウスつどいの施設の一部を、東西町地域振興協議会事務所として町が借用し、地域活動の拠点、地域住民のつどいの場として活用するもの。

東西町地域振興協議会は「地域の交流の場、高齢者・子どもの居場所づくり」を本施設を拠点に展開している。

協議会事務所のある在宅支援ハウスつどい内で、毎月1回地域の方からリユース品の寄附・販売委託を受け開催するわくわくショップや、同時開催する喫茶を通して、若年層や子育て世代、高齢者など、地域の方の買物機会の提供及び交流の場づくりを行っている。

また、在宅支援ハウスつどい内の取り組み以外にも、東西町コミュニティセンターでの主体的な住民の生涯学習活動の場の維持管理や東西町コミュニティホーム「西町の郷」での地域の方の居場所・交流の場づくりなどを通じて、安心・安全な地域づくりに取り組んでいる。

こうした活動は、鳥取県が推進する「住み慣れた地域において、高齢者、障がい児者及び児童等を含む地域住民の誰もが集い、多様なサービスや活動で支え合う拠点」となるものとして、「鳥取ふれあい共生ホーム」(平成30年度登録)に認定されている。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

費目	予算	決算	摘要
役務費	60,000	45,543	固定電話
借上料	781,000	780,021	賃借料
合計	841,000	825,564	

①成果実績または活動実績

平日のつどいを開放	カフェ、e-スポーツ等環境整備	つどい開放
毎月第3土曜日	リユース品の販売と交流	わくわくショップ
毎月第2・4土曜日	野菜づくり同好会の野菜販売	野菜市
8月25日	仕入れから販売まで中学生担当	駄菓子屋さん
7月22日～25日(4日間)	夏休みの学習機会の提供	なんぶっ子塾東西町教室
11月3日	中学生企画	東西町ハロウィン
9月～毎月1回	デジタル推進課主催	スマホ教室
毎月第4火曜日	健康福祉課主催	まちの保健室

②成果または活動の問題点

様々な事業によりつどいの場となっていが、高齢者利用が主であり、若い世代の利用促進が課題。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				11 役務費	46,196	45,543
				13 使用料及び賃借料	780,021	780,021
	一般財源	826,217	825,564			
	計	826,217	825,564	計	826,217	825,564

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	東西町地域の交流、居場所機能を持つ施設として、引き続き同法人から借り上げ、利用する。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	地域の主体的な取り組み(地域への開放や居場所づくり等)を引き続き支援する。
	解決すべき課題への方策	地域の小中学生が立ち寄りやすい活動の工夫、呼びかけを引き続き行う。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	財産管理費	会計名	一般会計	
事業名	12	東西町コミュニティセンター管理事業					所属名	未来を創る課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①地域住民 ②施設					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	①連帯意識の向上 ②適切に維持されている					①開かれた町政と自治協働の推進 「五つの挑戦」から見た位置づけ				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地域の身近な場所に地域活動の拠点となる場所があることで、地域の活動の活発化、活性化が図られる。					⑤行財政改革 根拠法令・要綱等 南部町立東西町コミュニティセンター条例				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		令和6年度執行率	99.90 %				
	1,825,378 円	1,295,728 円	△ 529,650 円	△ 29.0 %							
前年度比較	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減		令和6年度執行率	99.90 %				
	1,826 千円	1,297 千円	△ 529 千円	△ 29.0 %							

【事業内容】

東西町コミュニティセンターの管理を行う。
平成23年度から東西町地域振興協議会が指定管理者となり管理を実施。
(指定管理期間: 令和5年4月1日～令和8年3月31日)
(指定管理料: 令和6年度 1,170,000円)

【決算の状況】

(計画)及び(実績) (円)

費目	予算	決算	摘要
需用費	76,000	75,350	ドア改造修繕
役務費	15,000	14,738	火災保険料
委託料	1,170,000	1,170,000	指定管理料
借上料	36,000	35,640	AED借上料
合計	1,297,000	1,295,728	

①成果実績または活動実績

区分	利用人数	利用料収入
令和2年度	2,853	60,580
令和3年度	2,802	64,530
令和4年度	3,222	55,770
令和5年度	4,685	4,210
令和6年度	3,690	21,630

主な利用実績の概要

- ・減免利用: 各部会、100歳体操、麻雀クラブ、卓球、習字、万寿会、ヨーガ、銭太鼓、各区サロン
- ・一般利用: 西日本高速OB会、西伯写光会ほか

②成果または活動の問題点

東西町50周年記念行事等があった令和5年度と比較すると利用人数が減少している。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				10 需用費	0	75,350
				11 役務費	14,738	14,738
				12 委託料	1,170,000	1,170,000
				13 使用料及び賃借料	35,640	35,640
				14 工事請負費	605,000	0
	一般財源	1,825,378	1,295,728			
	計	1,825,378	1,295,728	計	1,825,378	1,295,728

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	東西町地域の活動拠点として有効利用されるよう、東西町地域振興協議会による指定管理委託により、引き続き施設の維持管理を行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	引き続き地域の活発な活躍の拠点施設として利用されるよう、適切な維持管理を行う。
	解決すべき課題への方策	各団体等の継続的な活動により、利用者の維持を図る。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	財産管理費	会計名	一般会計	
事業名	13	ふるさと交流センター管理事業				所属名	未来を創る課				
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①地域住民 ②施設				総合計画における位置づけ					
	意図 (対象をどうするか)	①連帯意識の向上 ②適切に維持管理されている				①開かれた町政と自治協働の推進 「五つの挑戦」から見た位置づけ					
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地域の身近な場所に地域活動の拠点となる場所があることで、地域の活動の活発化、活性化が図られる。				⑤行財政改革 根拠法令・要綱等 南部町立ふるさと交流センター条例					
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減							
	4,658,460 円	4,658,460 円	0 円	0.0 %							
前年度比較	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度執行率	99.97 %					
	4,660 千円	4,660 千円	0 千円	0.0 %							

【事業内容】

ふるさと交流センターの管理を行う。
平成23年度から天津地域振興協議会が指定管理者となり管理を実施。
(指定管理期間: 令和4年4月1日～令和7年3月31日)
(指定管理料: 令和6年度 3,930,000円)

【決算の状況】

(計画) (実績)

費目	予算	決算	摘要
役務費	66,000	65,040	火災保険料
委託料	3,930,000	3,930,000	指定管理料
借上料	664,000	663,420	AED借上料・LED照明設置
合計	4,660,000	4,658,460	

①成果実績または活動実績

利用者数(人)	会議室等	体育館	グラウンド	計(人)
令和2年度	2,692	4,315	5,204	12,211
令和3年度	2,244	4,764	6,388	13,396
令和4年度	2,958	4,463	8,140	15,561
令和5年度	3,077	4,675	6,589	14,341
令和6年度	3,186	6,508	4,694	14,388

利用料収入(円)	会議室等	体育館	グラウンド	計(円)
令和2年度	164,200	238,810	68,290	471,300
令和3年度	139,540	273,510	71,700	484,750
令和4年度	146,210	224,430	111,910	482,550
令和5年度	148,060	273,590	84,320	505,970
令和6年度	165,675	372,410	103,850	641,935

指定管理者の工夫により、フリースペース(ロビー)にセルフでお茶を飲めるスペースの設置や、e-スポーツ活動、手芸活動、スマホ教室等の場の提供等により、地域住民の方の利用が増えている。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
20-5-5-1	ふるさと交流センター自動販売機設置手数料	3,740	3,740	11 役務費	65,040	65,040
				12 委託料	3,930,000	3,930,000
				13 使用料及び賃借料	663,420	663,420
	一般財源	4,654,720	4,654,720			
	計	4,658,460	4,658,460	計	4,658,460	4,658,460

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	天津地域の活動の場として活用されるよう、天津地域振興協議会による指定管理委託により、引き続き施設の管理を行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	指定管理者の創意工夫により、新規利用、減免団体以外の利用により利用料収入が増加している。引き続き、協議会事業等において、日中利用を呼びかける創意工夫を行う。
	解決すべき課題への方策	施設の老朽化による修繕や備品の更新等について、年次的に優先順位をつけて対応を行う。

事業名	13	ふるさと交流センター管理事業	所属名	未来を創る課
<p>主な利用団体実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会議室等 <ul style="list-style-type: none"> ・一般利用:子どもサポートふたば(調理室)、ダンス(交流室) ・減免利用:みどり教室(大正琴)、虹の会(カラオケ)、フラハラウ(フラダンス) ○体育館 <ul style="list-style-type: none"> ・一般利用:VENUS(バレーボール)、美JAWS(ソフトバレー)、JOYテニス(テニス) ・減免利用:スポnet(バスケット)、南部ミニテニス(テニス)、 ○グラウンド <ul style="list-style-type: none"> ・一般利用:山蹴(サッカー)、 ・減免利用:天津GG(グラウンドゴルフ)、 <p>②成果または活動の問題点 施設の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕が必要。</p>				

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	財産管理費	会計名	一般会計
事業名	14	南さいはくサテライト拠点管理事業						所属名	未来を創る課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①地域住民 ②施設				総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	①連帯意識が向上するため利用している ②適切に維持管理されている				①開かれた町政と自治協働の推進 「五つの挑戦」から見た位置づけ				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地域の身近な場所に地域活動の拠点となる場所があることで、地域の活動の活発化、活性化が図られる。				⑤行財政改革 根拠法令・要綱等 南部町立上長田、東長田地区集会施設設置条例				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減						
	2,371,848 円	2,321,709 円	△ 50,139 円	△ 2.1 %						
前年度比較	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度執行率	85.51 %				
	2,502 千円	2,715 千円	213 千円	8.5 %						

【事業内容】

令和4年5月に南さいはく地域にオープンした、かまくら山荘の施設管理を行うもの。
令和6年度は、南さいはく地域振興協議会、一般社団法人南さいはくの協力を得ながら、直営管理を行った。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

費目		予算額(円)	決算額(円)	摘要
需用費	消耗品費	57,800	55,588	施設消耗品
	燃料費	95,392	59,446	ガス代
	光熱水費	926,808	926,808	電気代、水道代
役務費	火災保険料	171,000	170,800	建物災害共済継続委託分担金
委託料	保守点検委託料	63,000	62,700	消防用設備点検62,700円(上田商事)
	施設管理委託料	1,180,000	876,700	施設管理 665,500円(一社南さいはく) 機械警備 211,200円(大同警備保障)
	その他委託料	132,000	132,000	薪ストーブ清掃 50,600円(佐伯建築) 室内ワックス清掃 81,400円(東亜建物管理)
使用料及び賃借料	借上料	36,000	35,640	AED使用料
	通行料	53,000	2,027	下水道使用料
合計		2,715,000	2,321,709	

①成果実績または活動実績

区分	利用者数(人)	利用料収入(円)
令和5年度	3,403	136,050
令和6年度	3,434	59,450

令和7年度からは一般社団法人南さいはくによる指定管理として施設管理を行う。

主な利用団体実績

- ・一般利用:一般社団法人南さいはく(調理室)
- ・減免利用:各部会、多面役員会・総会、農業委員会、福祉コーディネーター会議、スマホ教室、踊りの会、防災訓練、福祉事務局推進会議、緑水湖活性化会議

②成果または活動の問題点

利用実績は、前年度と比較して横ばいだが、利用者が限定的な状況である。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
13-1-1-1	南さいはくサテライト拠点施設使用料	136,050	59,450	10 需用費	954,207	1,041,842
14-2-1-1-4	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	412,500	332,750	11 役務費	170,800	170,800
20-5-5-1	南さいはくサテライト拠点施設光熱水費使用	96,234	136,069	12 委託料	1,210,679	1,071,400
				13 使用料及び賃借料	36,162	37,667
	一般財源	1,727,064	1,793,440			
	計	2,371,848	2,321,709	計	2,371,848	2,321,709

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	南さいはく地域の活動の場として活用されるよう、一般社団法人南さいはくによる指定管理にて施設の管理を行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	引き続き地域の活発な活躍の拠点施設として利用されるよう、適切な維持管理を行う。
	解決すべき課題への方策	地域内、地域外の方に施設を知ってもらい、立ち寄ってもらえるような取り組みを引き続き検討する。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	財産管理費	会計名	一般会計
事業名	15	賀野地域交流拠点施設管理事業					所属名	未来を創る課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①地域住民 ②施設利用者					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	①-1 連帯意識が向上するために利用している ①-2 多様な交流が促進されるために利用している ② 生涯活躍のまちづくりに取り組むために利用している					①開かれた町政と自治協働の推進 「五つの挑戦」から見た位置づけ			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地域の身近な場所に地域活動の拠点となる場所があることで、地域の活動の活発化、活性化が図られる。					⑤行財政改革 根拠法令・要綱等 賀野地域交流拠点施設条例・賀野地域交流拠点施設管理規則			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減						
	1,084,203 円	1,458,525 円	374,322 円	34.5 %						
前年度比較	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度執行率	99.90 %				
	1,226 千円	1,460 千円	234 千円	19.1 %						

【事業内容】

賀野地域交流拠点施設の管理を行う。
令和3年度よりあいみ富有の里地域振興協議会が指定管理者となり管理を行う。
(指定管理期間: 令和5年4月1日～令和8年3月31日)
(指定管理料: 令和6年度 1,133,000円)

【決算の状況】

(計画)

費目	予算	決算	摘要
需用費	施設修繕料	143,000	142,890 エアコン修繕
役務費	火災保険料	74,000	73,075 火災保険料
委託料	施設管理委託料	1,133,000	1,133,000 指定管理料
使用料及び賃借料	借上料	36,000	35,640 AED借上料
	使用料	74,000	73,920 Wi-Fi使用料
合計		1,460,000	1,458,525

①成果実績または活動実績

利用者数(人)	テナント来場者	施設利用者	えんがわ市来場者
令和3年度	53,000	538	8,900
令和4年度	53,000	704	10,762
令和5年度	44,000	1,053	11,222
令和6年度	44,000	1,571	12,847

主な利用団体実績

・一般利用: マルシェ
・減免利用: ヨガ教室、まちの保健室、担い手育成(産業課)、スマホ教室、各部会、100歳体操、福祉推進委員会協議会会議ほか

利用料収入(円)	貸室利用料	テナント利用料	テナント光熱水費	計(円)
令和3年度	30,570	424,920	743,370	1,198,860
令和4年度	53,200	483,840	806,082	1,343,122
令和5年度	62,900	483,840	615,021	1,161,761
令和6年度	81,700	483,840	808,232	1,373,772

テナントのジェラートや、えんがわ市を目標に町外、県外から来訪する方やリピーターも多数あり、南部町を代表する集客スポットとなっている。

町内の貸室利用者が主催するイベントやサークル活動等により、交流人口増にもつながっている。

②成果または活動の問題点

テナントの環境について、食品(ジェラート)を扱う店舗としては改善が求められる。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				10 需用費	0	142,890
				11 役務費	73,075	73,075
				12 委託料	823,000	1,133,000
				13 使用料及び賃借料	84,288	109,560
				14 工事請負費	103,840	0
	一般財源	1,084,203	1,458,525			
	計	1,084,203	1,458,525	計	1,084,203	1,458,525

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	地域の産品等を活用した地域の活性化と来訪者の集客につながっているため、引き続き同指定管理者による施設の活用を行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	ジェラートショップへの集客、富有の里地域振興協議会が行っているえんがわ市、地域住民による屋台の出店等により、地域の産品を活用した賑わいと人の流れの創出に引き続き取り組む。
	解決すべき課題への方策	食品を扱うテナントとしての環境改善について検討を進める。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	財産管理費	会計名	一般会計	
事業名	16	複合施設キナルなんぶ活用促進事業					所属名	未来を創る課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町民、利用者、関係人口					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	多様な町民、利用者、関係人口による施設の利用の促進					①移住定住・交流・観光の推進				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	町民や利用者の交流と活躍の促進 地域再生推進法人や地域振興協議会等との連携による地域活性化					「五つの挑戦」から見た位置づけ				
							①なんぶ創生 根拠法令・要綱等				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		南部町複合施設条例、第2期生涯活躍のまち基本計画				
	14,037,991 円	14,944,265 円	906,274 円		6.5 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減						
	17,084 千円	17,729 千円	645 千円		3.8 %						
				令和6年度執行率	84.29 %						

【事業内容】

オープン4年目として更なる来館者数の増加を目指し、協力団体と連携して企画運営を行う。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

(円)

歳入	節	予算額	決算額	摘要
	デジタル交付金	250,000	351,400	対象経費×1/2(報償費の一部及び備品購入費)
貸付収入	134,000	24,000	ルポゼ(2,000円×12か月)	
		123,200	ペルテ(11,200円×11か月)	
光熱水費使用料	1,080,000	997,709	ルポゼ(12か月)	
		25,805	ペルテ(9か月) (注)1月～3月は休業期間	
複合施設電話代	24,000	14,960	協議会(法勝寺):12,984円、ルポゼ:1,976円	
合計	1,488,000	1,537,074		

(円)

歳出	節	予算額	決算額	摘要
	報償費	報償費	700,000	560,843
旅費	普通旅費	133,000	5,000	講師交通費
需用費	消耗品	600,000	554,090	トイレトーパー、清掃用洗剤、コピー代等
	燃料費	11,000	0	草刈り機、芝刈り機の燃料購入なしのため執行なし
	印刷製本費	112,000	88,880	施設案内リーフレット作成、看板シート貼り等
	光熱水費	8,170,000	6,389,202	電気代、水道代
	施設修繕費	50,000	35,640	駐車場カフェ出入口支柱交換
役務費	通信運搬費	420,000	385,533	電話代
	手数料	30,000	15,235	ピアノ調律手数料
	火災保険料	218,000	217,860	建物災害共済継続委託分担金
委託料	保守点検	1,507,000	1,475,640	消防設備法定点検等(詳細は欄外)
	施設管理	4,885,000	4,486,004	日直業務、清掃業務、機械設備、除草業務(詳細は欄外)
使用料及び賃借料	借上料	116,000	115,368	複合機リース料、マット・モップレンタル等
	使用料	227,000	105,710	下水道使用料
備品購入費	備品購入費	550,000	509,260	「キナルガチャ」1台購入
合計		17,729,000	14,944,265	

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
14-2-1-1-4	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	157,205	351,400	7 報償費	187,960	560,843
16-1-2-1-11	キナルなんぶ貸付収入	158,400	147,200	8 旅費	0	5,000
20-5-5-1-93	キナルなんぶ光熱水費使用料	642,876	1,023,514	10 需用費	7,169,556	7,067,812
20-5-5-1-87	複合施設電話代	13,167	14,960	11 役務費	629,112	618,628
				12 委託料	5,822,009	5,961,644
				13 使用料及び賃借料	229,354	221,078
	一般財源	13,066,343	13,407,191	17 備品購入費	0	509,260
	計	14,037,991	14,944,265	計	14,037,991	14,944,265

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	多世代が活躍できる施設として、魅力ある事業を企画運営するとともに維持管理を行っていく。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	来館者の増加につながる企画・取組みをプロジェクトチーム、公民館、図書館等と引き続き行う。
	解決すべき課題への方策	来館者に気持ちよく利用してもらえる施設にするために、施設の利用マナーを理解できるような取り組みを実施する。

事業名	16	複合施設キナルなんぶ活用促進事業	所属名	未来を創る課
-----	----	------------------	-----	--------

①成果実績または活動実績

日時	名称	内容
4/28(日)	キナルdeナイト vol.5	日曜の夕方に行う若い世代に向けた音楽イベント
8/4(日)	キナル夏まつり	法勝寺地区地域振興協議会と連携したイベント
10/20(日)	能登応援チャリティイベント	音楽・飲食等によるチャリティーイベント
12/8(日)	わんこ読書会	図書館と連携した盲導犬との交流会
1/26(土)	藤原健太チェロコンサート	南部町出身の藤原さんによるチェロコンサート
2/1(土)	空き家シンポジウム	未来を創る課と連携した空き家課題の啓発シンポジウム
3/16(日)	第2回ワンコイングランプリ	町内飲食店によるワンコインメニューコンテスト

(注)多目的ルーム等は公民館条例に位置付けられるため、使用料は公民館が収受している。

年度	R3	R4	R5	R6	延べ数
来館者(人)	177,021	196,482	215,426	226,022	814,951
イベント等施設利用(回)	457	342	845	988	2,632

<キナルガチャ>

キナルなんぶへの集客及び町内企業・団体等のPRを目的にガチャを設置し、活用している。



②成果及び活動の問題点

・利用マナーに起因する利用者間のトラブル等が発生している。

【委託】

(円)

目的	概要	積算根拠	相手先
電気事業法施行規則第52条第2項に定める電気工作物の維持・運用に関する保安	非常用予備発電機の点検 1回/月	230,000	前田電機管理事務所
建築基準法第12条に基づく昇降機の定期検査及び遠隔監視	昇降機の定期検査 4回/年	528,000	山陰東芝エレベーター(株)
施設ホームページの保守・管理	サーバーの保守・管理及びホームページのセキュリティ対策等	220,000	(株)ベリー
消防法第8条の2の2に基づく防火対象物点検	消防法施行規則に定める項目の点検 4回/年	178,640	(株)上田商事
消防法第17条の3の3に基づく消防用設備点検	・機器点検 1回/半年 ・総合点検 2回/年	319,000	(株)上田商事
キナル及び法勝寺電車展示場の夜間保安	センサー等による機械警備	514,800	大同警備保障(有)
平日及び土曜の18:00以降の安全かつ円滑な施設利用の確保	17:15から22:00までの日直 294日/年	1,145,400	4名
月・土・日・祝日の安全かつ円滑な施設利用の確保及び高齢者の雇用安定促進	17:00～22:00(月)、 8:30～18:00(土)、 8:30～22:00(日・祝) 1,543H/年	1,607,184	(公社)南部広域シルバー人材センター
施設の日常清掃、障がい者の日常生活及び社会生活の総合的な支援	92日/年、延べ269人役	518,760	(社福)祥和会わかとり作業所
施設美化清掃及び衛生管理	・カーペットクリーニング:957㎡ ・ワックス塗布:1,785㎡ ・ガラス清掃:643㎡	639,105	東亜建物管理(株)
施設敷地内美化及び高齢者の雇用の安定促進	4回/年、延べ41時間	60,755	(公社)南部広域シルバー人材センター

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費	会計名	一般会計
事業名	3	企画事務費							所属名	未来を創る課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	企画政策課						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	事業実施のための事務的経費						①開かれた町政と自治協働の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	企画政策課が所管するまちづくり事業などが企画・実施される						「五つの挑戦」から見た位置づけ ⑤行財政改革 根拠法令・要綱等 地方自治法第232条第1項、南部町富有の里まつり実行委員会補助金交付要綱		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減						
	2,295,321 円	2,196,410 円	△ 98,911 円	△ 4.3 %						
前年度比較	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度執行率					
	2,955 千円	3,060 千円	105 千円	3.6 %	71.78 %					

【事業内容】

- 企画政策課が使用する各種経費(封筒、コピー代金、郵便代金など)を計上する。
- 南部町の特産品を知っていただき、産業振興につなげるため、各課の視察時等の土産代を負担する。
- 富有の里まつり実行委員会に補助金を交付する。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節	予算額	決算額	摘要	
報償費	250,000	237,825	南部町特産品のPR経費	
旅費	144,000	114,922	企業訪問等旅費	
需用費	消耗品費	150,000	126,793	一般事務消耗品、コピー代
	燃料費	260,000	159,639	公用車ガソリン代
	印刷製本費	99,000	99,000	敬老会挨拶状印刷代
	修繕費	49,000	49,000	集落名案内標識3カ所修繕費
役務費	通信運搬費	60,000	50,018	郵便料金
	手数料	55,000	55,000	企業版ふるさと納税紹介手数料
	自動車保険料	51,000	50,620	公用車(自動車保険料)
使用料及び賃借料	借上料	568,150	565,989	公用車(エブリイ及びプロボックス)借上料
	使用料	360,850	1,500	企業版ふるさと納税ポータルサイト(寄付受付)使用料 駐車場使用料
	通行料	30,000	27,460	高速道路通行料
負担金補助及び交付金	その他負担金	83,000	30,000	とっとり空き家利活用推進協議会負担金
	その他補助金	900,000	608,644	西部地域振興協議会負担金 富有の里まつり実行委員会補助金
合計	3,060,000	2,196,410		

①成果実績または活動実績

事務的経費については、予算の執行管理に努め、効率的に執行することができた。
富有の里まつり実行委員会の中心事業である全国柿のたね吹き飛ばし大会を5年ぶりに復活開催することができた。
開催日:令和6年11月23日(土・祝) 大会参加者数:238人

②成果または活動の問題点

企業版ふるさと納税ポータルサイトを通じた寄付を受け付けることができなかった。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				7 報償費	222,890	237,825
				8 旅費	127,913	114,922
				10 需用費	445,812	434,432
				11 役務費	522,466	155,638
				13 使用料及び賃借料	650,240	594,949
				18 負担金補助及び交付金	326,000	658,644
	一般財源	2,295,321	2,196,410			
	計	2,295,321	2,196,410	計	2,295,321	2,196,410

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	引き続き事務費の節減に努め、予算の適正な執行を図っていく。 全国から人が集まる「富有の里まつり(柿のたね吹き飛ばし大会)」をめざし、補助を継続する。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	事業、出張等の目的や効果を把握し、事業等の精査を行うとともに、デジタルを活用した事務処理を推進し、ペーパーレス化を行って、事務的経費の支出削減を図っていく。 富有の里まつり参加者増に向け、SNS等を活用した広報を計画的に実施する。
	解決すべき課題への方策	町の歳入確保に向け、ホームページ等による企業版ふるさと納税の広報を積極的に行っていく。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費	会計名	一般会計
事業名	5	公共交通対策事業						所属名	未来を創る課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	住民(特に交通手段を持たない高齢者等の交通弱者)						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	病院、通学、買い物など町民の移動手段として運行し、マイカーに過度に依存しない交通の利便性の確保を図る。						⑩快適な生活環境の整備		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	免許返納者等交通手段を持たない町民が日常生活を送る上で必要な町内移動手段を確保でき、安心して暮らせる環境が整えられる。車両を小型化することにより乗降ポイントの増設が可能となることに加え、燃料消費量も抑えられることから利便性・経済性が向上する。						「五つの挑戦」から見た位置づけ		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		南部町営バスの管理及び運行に関する条例、南部町地域公共交通会議設置要綱、南部町広域バス路線維持費補助金交付規則、南部町路線バス運行対策費(国庫補助路線分)交付規則				
	88,065,140 円	112,170,732 円	24,105,592 円	27.4 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	89,180 千円	119,982 千円	30,802 千円	34.5 %						
				令和6年度執行率	93.49 %					

【事業内容】

- 日ノ丸自動車が行う(道路運送法4条に基づく)路線バスへの補助
生活交通路線として必要なバス路線の運行維持を目的として、法勝寺線と御内谷線に対し、運行に係る損益部分(運行赤字)を国、県、米子市、南部町で補填する。
- 町営ふれあいバス運行
生活交通を確保するためAIデマンド交通システムを活用した予約型区域運行バスを運行する。
- 日ノ丸自動車回数券販売(東西町・天津)
ふれあいバスが運行しないエリアを含む東西町および天津地域振興協議会において同一料金によるバス移動の確保を目的として利用者の区分に応じた金額で町内移動に利用する路線バス回数券の販売を行う。
- 町営ふれあいバスEV新車両導入
運行車両の最適化と持続可能な公共交通を確保するため、ふれあいバスに軽自動車を導入する。
- ふれあいバス待合環境改善
丸合西伯店のバス待合所の雨の吹込みを改善する。
- 南部町版MaaSの検討等
持続可能な公共交通の維持確保のため公共交通会議や運転者講習、公共交通計画の検討等を行う。

【決算の状況】(計画)及び(実績)

(円)

節	予算額	決算額	摘要
報償費	41,000	0	会議は全て書面開催
旅費	144,000	0	交通政策中央研修会等への不参加
需用費	75,000	61,277	公共交通会議資料、定期券台紙等
役務費	476,000	475,200	デジタルサイネージ通信費
	605,000	223,197	日ノ丸バス回数券販売手数料
委託料	84,366,000	77,404,800	町営バス運行、MaaS検討、車両ラッピング(詳細は欄外)
使用料及び賃借料	4,611,000	4,342,800	ふれあいバスリース料5台
	4,356,000	4,356,000	AIデマンド交通システム使用料
工事請負費	275,000	275,000	丸合バス停改修工事
負担金補助及び交付金	16,216,000	16,215,685	南部町広域バス路線維持費補助金(詳細は欄外)
	8,817,000	8,816,773	南部町路線バス運行対策費補助金(詳細は欄外)
合計	119,982,000	112,170,732	

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
14-2-1-1-3	地域公共交通確保維持改善事業費補助金	4,826,000	0	7 報償費	2,700	0
15-2-1-1-4	広域路線バス補助金	1,251,000	2,706,000	8 旅費	98,218	0
15-2-1-1-11	新たな地域交通体系構築支援補助金	11,088,000	25,821,000	10 需用費	70,972	61,277
17-1-3-1-1	企業版ふるさと納税	0	500,000	11 役務費	800,923	698,397
20-5-5-1-37	ふれあいバス運行収入	2,305,697	2,846,693	12 委託料	62,140,122	77,404,800
20-5-5-1-117	日ノ丸バス回数券販売収入	26,523	89,097	13 使用料及び賃借料	6,956,400	8,698,800
20-5-5-1-134	燃料補償等	100,450	0	14 工事請負費	0	275,000
				18 負担金補助及び交付金	17,995,805	25,032,458
	一般財源	68,467,470	80,207,942			
	計	88,065,140	112,170,732	計	88,065,140	112,170,732

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	デジタル技術やクリーンエネルギーの活用による効率化・省エネ・省コストの促進と利便性・持続性の確保の両立を目指す。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	利用者ニーズを丁寧に拾い、利便性・持続性の高い運行体系を維持・確保する。
	解決すべき課題への方策	持続可能な生活交通確保のため、関係団体等と現状を共有し、協力体制を構築する。

①成果実績または活動実績

1 路線バスへの補助実績(バス事業年度:令和5年10月～令和6年9月)

路線別	町補助金内訳(円)	運行状況		
		運行回数(回)	平均乗車密度	輸送量
法勝寺線(峰経由)	8,816,773	12.5	2.6	32.5
法勝寺線(大袋経由)	5,278,450	3.3	1.6	5.2
法勝寺線東長田系(朝一便)	957,675	0.3	1.0	0.3
法勝寺線上長田系(朝一便)	1,025,409	0.3	2.9	0.8
御内谷線	8,664,671	4.9	1.1	5.3
御内谷線(米子高校経由)	289,480	0.3	3.5	1.0
合計	25,032,458			

(注) 運行回数・・・1日当たりの運行回数。1便を0.5でカウント。
平日1便のみ運行で0.3((運行本数)×平日数/365日)

(注)平均乗車密度・・・基点から終点までの平均乗車人数

(注)輸送量・・・1便当たりの輸送量:運行回数×平均乗車密度

運行回数は前年維持であったが、法勝寺線(東長田系・上長田系)において平均乗車密度及び輸送量が減少した。経過措置期間が終了したため今年度から法勝寺線(大袋経由)が国庫補助路線から外れたこと等により町補助額が大幅に増額となった(前年度額+8,287,653円)。

2 町営ふれあいバス実績(R6.4.1～R7.3.31)

● 北部エリア

	運行委託料	運賃収入	総利用者数	バクシー利用者数	通学利用者数	乗降ポイント数
令和6年度	37,884,000	1,699,350	20,677	5,638	12,961	309
令和5年度	33,151,250	1,641,850	20,688	5,114	13,061	266
比較	4,732,750	57,500	-11	524	-100	43

● 南部エリア

	運行委託料(円)	運賃収入(円)	総利用者数(人)	バクシー利用者数(人)	通学利用者数(人)
令和6年度	34,980,000	744,243	8,030	3,960	2,059
令和5年度	21,808,600	663,847	7,138	1,348	2,493
比較	13,171,400	80,396	892	2,612	-434

・利用者:通学利用で減少がみられるがバクシー利用(+3,136人)及び総利用者数(+881人)は増加している。

・運行委託料:年間を通じたバクシー運行の初年度であることから委託費が増加している。

(注)北部エリア土曜日運行開始(R5.10)、南部エリアバクシー運行開始(R5.10)。

(注)運行エリアでの2社共同運行開始(R6.2)。

・収入には通学定期券収入(1,123,500円)及び免許返納定期券収入(378,000円)を含む。

・乗降ポイントは北部エリア及び南部エリアの合算値。

●その他の取組み

・AIデマンド交通システム(デジタルサイネージ6台含む)による運行効率向上の取組み

AIにより予約と運行の最適化しているとともに車両位置を運行ルートをデジタルサイネージに表示することで利用者の安心感を確保した。

3 日ノ丸自動車回数券販売(東西町・天津)

	計画冊数	販売実績	回数券売上	販売収入	販売手数料	町負担額
令和6年度	200冊	93冊	230,100円	93,000円	6,903円	130,197円
令和5年度	50冊	26冊	65,900円	28,500円	1,977円	35,423円
比較		67冊	164,200円	64,500円	4,926円	94,774円

・回数券売上(=回数券額面の販売額):販売手数料(3%)を差し引いた額を日ノ丸自動車に町が支払う。

・販売収入(=実際の販売額):手数料(3%)を差し引いた額を協議会が町に納める。

・販売手数料(=回数券売上×3%):取扱い協議会が手数料として収入。

・高齢者による買い物及び団体でのお出かけ、子どもの夏休み中のスポーツスクール等に利用いただいている。

4 町営ふれあいバスEV新車両導入

企業版ふるさと納税を活用し、町制20周年を記念したラッピング施工した軽EV2台を導入し、2/15の出発式から運行を開始した。

(注)車両リース開始は12月2日。運輸支局への登録及びラッピング施工等に2か月要した。

リース事業者:AOTカーサービス

・2/15にデザイン考案者や事業者を招待した出発式を実施



事業名	5	公共交通対策事業	所属名	未来を創る課
-----	---	----------	-----	--------

5 ふれあいバス待合環境改善

丸合西伯店のバス待合所の環境改善工事・・・275,000円 施工事業者:(有)セイブテクノス
 <施工内容>
 待合所上部の隙間からの雨吹き込みを防止するためスクリーンを設置。



施工前



施工後

6 南部町版MaaSの検討等

●南部町地域公共交通会議 3回開催(全て書面開催)

第1回会議 <https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/mirai/u134/>

第2回会議 <https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/mirai/s801/>

第3回会議 <https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/mirai/s124/>

●南部町版MaaS検討伴走支援業務

<内容>バスの利用者及び運行等の分析、運行事業者等へのヒアリング調査、今後の課題整理 等

②成果または活動の問題点

1 民間路線バス

・利用者数の減少により国庫補助対象路線から外れたこと及び運行経費の上昇により町の負担額は上昇しており、早急な改善が見込まれにくい。

2 町営ふれあいバス

・バクシー運行については利用者数が年々増加傾向にある一方、運行コストも上昇している。
 ・日曜及び祝日の北部エリアなど、曜日や時間帯によっては交通空白状態となる地域がある。

3 日ノ丸バス回数券販売

・計画に対し実利用者が46.5%にとどまっている。

4 町営ふれあいバスEV新車両導入

・所有台数が増えたことにより車両維持費が増加した。

5 ふれあいバス待合環境改善

・一部の待合所について利用マナー啓発が必要。

6 南部町版MaaSの検討等

・担当課での課題の整理およびあるべき姿の検討にとどまり、各種団体、事業者及び部局を超えた連携・協力体制の構築に至らなかった。

【補助金】

目的	概要	積算根拠	相手先
地域住民の生活に必要なバス路線のうち広域的かつ幹線的なバス路線の運行維持	南部町路線バス運行対策費(国庫補助路線分)補助金<国庫補助路線の運行赤字に対する補助>	(運行赤字額-国庫及び県補助額)×(補助対象路線の町内における系統キロ数÷補助対象運行系統の視点から終点までの系統キロ数)。	日ノ丸自動車(株) 法勝寺線峰経由
地域住民の生活に必要なバス路線のうち広域的かつ幹線的なバス路線の運行維持	南部町広域バス路線維持費補助金<国庫補助対象とならない路線の運行赤字に対する補助>	運行赤字額×(広域補助対象系統の町内における系統キロ数÷補助対象運行系統の視点から終点までの系統キロ数)	日ノ丸自動車(株) 法勝寺線(大袋経由・上長田系・東長田系)及び御内谷線(米子高校経由含む)

(注)国庫補助路線の要件は(1)複数市町村にまたがり(2)系統キロが10km以上(3)運行回数が3回/日以上(4)輸送量が15~150人/日(5)広域行政圏中心にアクセスしていることの5つを全て満たす生活路線。

【委託】

目的	概要	積算根拠	相手先
北部エリアを中心としたふれあいバスの運行	町営ふれあいバス北部エリア運行業務	鳥取県労務単価等による <運行 294日/年>	ジャパントラフィックプランニング株式会社
南部エリアを中心としたふれあいバスの運行	町営ふれあいバス南部エリア運行業務	鳥取県労務単価等による <運行 359日/年>	日本海観光株式会社
脱炭素の取組みを促進する新車両のPR	ふれあいバス新車両出発式	看板作成、音響機材、テープカットほか記念式典一式	(株)オーガナイズ
町制20周年を記念したイラストをラッピングし、親しまれるふれあいバスとする	新車両ラッピング業務	デザイン調整及び車両3面(2台)へのラッピング	山陰パナソニック(株)
専門的知見による課題の整理及び今後の方策の検討に係る伴走支援	南部町版MaaS検討伴走支援業務	設計業務等標準積算基準書による <状況分析、関係各所へのヒアリング調査等>	(株)バイタルリード

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費	会計名	一般会計
事業名	6	大学連携事業							所属名	未来を創る課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	大学	総合計画における位置づけ							
	意図 (対象をどうするか)	南部町が抱える様々な地域課題について、解決に向けて協働して取り組む鳥取大学等の活動を支援する。	①移住定住・交流・観光の推進 「五つの挑戦」から見た位置づけ							
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地域課題の解決により、町のめざす姿に寄与することができる。移住や事業化につながるケースもあり、今後さらなる展開が期待される。	①なんぶ創生 根拠法令・要綱等 鳥取大学と南部町の連携に関する協定、共立女子大学・共立女子短期大学と鳥取県南部町との連携協力に関する協定書							
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減						
	25,700 円	1,174,357 円	1,148,657 円	4,469.5 %						
前年度比較	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度執行率	88.30 %				
	52 千円	1,330 千円	1,278 千円	2,457.7 %						

【事業内容】

役場の各課や地域団体が抱える課題に対し、鳥取大学や島根大学等と連携して、課題解決のための調査、研究に取り組む。また、南部町内をフィールドとした地域実習を受け入れ、町の魅力発信やまちづくりの活動への参加に対する支援を行い、交流人口、関係人口の増加につなげる。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節	予算額	決算額	摘要	
報償費	45,000	39,000	大学教授講演会謝金	
旅費	22,000	0		
需用費	消耗品費	5,000	3,000	講演会資料代
	燃料費	20,000	857	送迎バス燃料代
使用料及び賃借料	138,000	33,000	大学生受入れの際のコテージ使用料	
負担金補助及び交付金	1,100,000	1,098,500	島根大学との共同研究に係る負担金	
合計	1,330,000	1,174,357		

①成果実績または活動実績

- 鳥取暮らし早期体験学習:鳥取大学に入学した学生が鳥取県の自然環境等を学ぶ。
期日:令和6年6月9日 学生参加者:12名
- 地方創生政策体験学習:鳥取大学の学生がフィールドワークを行い、地方創生に資する施策提案を行う。
フィールドワーク:令和6年9月23日、24日 報告会:令和7年2月6日 学生参加者:4名
- 学生による集落機能維持の研究:鳥取大学の学生が坂根集落に通い、集落機能の維持に関する研究を行う。
期間:令和6年4月～令和7年2月 報告会:令和7年2月23日
- 島根大学との共同研究:「南部町のコミュニティと地域の未来」をテーマに共同研究を行う。
研修会:令和6年9月24日、11月11日、令和7年2月7日 報告会:令和7年3月15日
- 共立女子大学学生が放置竹林対策や空き家活用方法を研究するフィールドワークやワークショップを行う。
期日:令和7年2月14日、15日 学生参加者:10名

②成果または活動の問題点

鳥取大学に入学した県外学生等に南部町のことを学び、知ってもらうことは大事なことはあるが、地域課題の解決に向けて協働して取り組んでいくには難しい状況にある。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				7 報償費	22,700	39,000
				8 旅費	0	0
				10 需用費	3,000	3,857
				13 使用料及び賃借料	0	33,000
				18 負担金補助及び交付金	0	1,098,500
	一般財源	25,700	1,174,357			
	計	25,700	1,174,357	計	25,700	1,174,357

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	共立女子大学の提案を受け、改修した空き家が活用されるようになるなど、一定の成果が得られており、また、鳥取大学や島根大学の学生に南部町を訪れてもらい、施策提案を行ってもらうことも地方創生を進めていくうえで参考となるため、大学との連携を継続する。 島根大学との研究は、今後の地域振興協議会のあり方を基で協議し、これをまとめていく。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	大学生の来訪を受け、活動が活発化する集落、楽しく交流する町民もあり、活動の様子を広報誌等で発信することで、交流の輪を広げ、元気な集落を増やしていく。
	解決すべき課題への方策	大学連携による地域課題解決に向けては、役場関係課、町内関係団体等と一緒に取り組む、これをしっかりとコーディネートしていく。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費	会計名	一般会計	
事業名	7	国際交流事業					所属名	未来を創る課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	南部町国際交流協会、町民					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	南部町国際交流協会の活動を支援し、本町における国際交流を活性化させる。町民の国際交流への理解を深める。					①移住定住・交流・観光の推進				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	南部町国際交流協会の活動に対する町民理解が深まる。国際交流協会の会員や国際交流協会が実施する事業の参加者が増える。					「五つの挑戦」から見た位置づけ				
						①なんぶ創生 根拠法令・要綱等					
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		南部町国際交流協会支援補助金交付要綱					
	133,809 円	159,151 円	25,342 円	18.9 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減							
	259 千円	288 千円	29 千円	11.2 %							
				令和6年度執行率	55.26 %						

【事業内容】

旧町時代から30年にわたって活動を続けている南部町国際交流協会について、コロナの影響で中断していた事業等が復活するよう支援を行い、今後、より重要となっていく外国人との共生に対する町民理解が深まるようにする。会員数:55名

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

補助金内訳	予算額	決算額	内容
会議費	7,000	11,069	会議資料印刷代等
事業費	200,000	23,060	30周年記念茶話会
広報費	55,000	79,200	広報誌「善隣友好」
通信費	26,000	45,822	会議等案内、はがき、切手、郵送料
合計	288,000	159,151	

※韓国ハンリム大学ホームステイ事業の再開中止

令和元年以来、5年ぶりのホームステイ事業を計画したが、大学の休暇時期との調整がつかず中止となった。

①成果実績または活動実績

- 30周年記念茶話会の開催
ホームステイ事業の再開中止により、30年の歴史を振り返り、今後の国際交流について話し合う会を実施した。
開催日:令和6年12月1日 会員参加者:22名
- 広報誌「善隣友好」の発行
30周年記念号を作成し、町内全戸配布を行った。
- よなご国際交流フェスティバルへの参加
米子市で行われたよなご国際交流フェスティバルに参加し、広報誌「善隣友好」の拡大展示を行った。
また、他の自治体に拠点を置く国際交流団体との交流を行った。
開催日:令和6年10月6日 場所:米子市文化ホール 会員参加者:5名

②成果または活動の問題点

再開を予定していたホームステイ事業が実現しなかったため、国際交流協会においては、年度当初から事業スケジュールをしっかりと組み、大学側との調整を図っていく必要がある。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				18 負担金補助及び交付金	133,809	159,151
	一般財源	133,809	159,151			
	計	133,809	159,151	計	133,809	159,151

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	国際交流協会の取組を町民にわかりやすく広報していくことで、会員を増やしていくとともに、町民の国際交流に対する意識を高めていく必要がある。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	コロナを理由に活動が停滞していたところから、再開に向けての前向きな検討がなされるようになってきたところであり、国際交流協会の取組を広報誌等により、広く町民に伝えていく。
	解決すべき課題への方策	令和7年度には、6年ぶりのホームステイ事業が再開できるよう、国際交流協会への側面支援も行っていく。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費	会計名	一般会計				
事業名	8	南部町人会交流事業					所属名	未来を創る課						
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町人会、県人会に出席する町や県の出身者やゆかりがある方					総合計画における位置づけ							
	意図 (対象をどうするか)	都市圏での情報提供を行うことにより、南部町出身者を中心に町とのつながりを持ち、町を応援していただく。					①移住定住・交流・観光の推進							
	成果の視点 (どのような効果があるか)	町出身者等との交流、特産品の提供を通じて南部町の魅力を広く伝えることで、南部町への関心が高まり、町出身者のUターンや町外出身者との関係性づくりが期待される。					「五つの挑戦」から見た位置づけ							
							①なんぶ創生 根拠法令・要綱等							
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		なんぶ創生総合戦略								
	220,420 円	262,557 円	42,137 円	19.1 %										
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減							令和6年度	90.23 %		
	327 千円	291 千円	△ 36 千円	△ 11.0 %							執行率			

【事業内容】

関西及び関東で開催される県人会や南部町人会等の交流事業に参加し、地元出身者との交流、親睦を図る。

対象者 関東なんぶ会：南部町出身者、東京・東海・岡山各県人会：鳥取県出身者

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節	予算額	決算額	摘要	
旅費	普通旅費	199,000	198,340	航空券、JR利用料等旅費
役務費	通信運搬費	14,000	4,217	郵便料
	広告料	20,000	10,000	東京県人会名刺広告料
使用料	使用料	8,000	0	駐車場代
負担金補助及び交付金	その他負担金	50,000	50,000	関東なんぶ会6,000円×3名、東海鳥取県人会10,000×1名、東京鳥取県人会10,000円×1名、在岡山鳥取県人会12,000円×1名
合計		291,000	262,557	

①成果実績または活動実績

- 第19回関東なんぶ会懇親会
日付：令和6年5月18日
場所：とっとり・おかやま新橋館「ビストロカフェもてなし家」
出席者：陶山町長、景山議長 堀越主事(町人会担当者)
出席者人数：32名
提供品：ひろみいちご のみもののためのイチゴジャム
- 東京鳥取県人会総会・懇親の集い
日付：令和6年11月4日
場所：都市センターホテル
出席者：陶山町長
出席者人数：200名
提供品：なんぶ便
- 第56回東海鳥取県人会総会・懇親会
日付：令和6年5月25日
場所：名古屋クレストンホテル
出席者：田村課長
出席者人数：約120名
提供品：古代米酒 比売神乃雫
- 在岡山鳥取県人会記念講演・総会
日付：令和6年11月22日
出席者：宮永副町長
出席者人数：約130名
場所：ホテルグランヴィア岡山
提供品：ファームミヤクランド
イチジクジャム・チョコセット

② 成果または活動の問題点

県人会・町人会では、会員の年齢層が高くなってきており、持続的な活動のためには、若い世代の参加促進が課題となっている。

(歳入内訳 単位：円)

(歳出内訳 単位：円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				8 旅費	145,020	198,340
				11 役務費	16,400	14,217
				18 負担金補助及び交付金	59,000	50,000
	一般財源	220,420	262,557			
	計	220,420	262,557	計	220,420	262,557

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	各会合に町長等が参加して町出身者との交流を深めるとともに、特産品の提供や、町の施策等を情報提供することで、町外の方へ南部町のPRを行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	県人会の一度の出会いにとどまらず、今後もつながりを感じてもらえるような継続的な交流の場をつくっていく。
	解決すべき課題への方策	若い方とのネットワークを構築するため、南部町高校生サークル、HOPT若手鳥取県県人会、鳥取県学生寮等と連携する。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費	会計名	一般会計
事業名	10	移住・定住促進対策事業						所属名	未来を創る課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	移住・定住者、移住希望者						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	定住や子育て世代等への転入のハードルを引き下げ、地域をはじめとするコミュニティとつながることによっていつまでも南部町で暮らしたいと思える環境を整備する。						①移住定住・交流・観光の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	移住・定住の促進により、南部町の人口増加と近隣自治体等への人口流出が抑制されるように、対策を講じる。						「五つの挑戦」から見た位置づけ ①なんぶ創生 根拠法令・要綱等		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		南部町定住促進奨励金交付要綱、南部町子育て世代等応援定住促進奨励金交付要綱、南部町空き家を活用した移住者受入支援事業奨励金交付要綱、結婚新生活引越支援金支給事業実施要綱				
	9,502,506 円	8,879,555 円	△ 622,951 円	△ 6.6 %						
前年度比較	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減		令和6年度執行率	69.85 %			
	10,932 千円	12,712 千円	1,780 千円	16.3 %						

【事業内容】

将来の南部町の人口増を目的として定住の促進を図り、地域の活性化に寄与する。

- 定住促進奨励金
町内に新たに土地及び住宅を購入された方、住宅を新築された方に固定資産税相当額を奨励金として交付する(3年間)。
- 新婚・子育て世帯賃貸住宅家賃助成事業 (H27.4月以降に契約した物件が対象)
1.入居奨励金(5万円限度) 2.家賃奨励金(24ヶ月限度、1ヶ月15,000円限度)
- 空き家を活用した移住者受入支援事業奨励金
自治会のうち、自治会区域内に存する空き家の確保に協力するとともに当該空き家に入居する移住者の受け入れを積極的に行おうとする者に対し奨励金(2万円)を交付
- 結婚新生活支援事業
夫婦共に39歳未満で世帯所得が500万未満の新婚世帯に対し、引越し費用を補助する。
補助限度額:1世帯当たり30万円(夫婦共に29歳以下の場合、1世帯あたり60万円)
- 移住支援金交付事業
東京圏から南部町に移住し就職または起業等された方に、移住支援金を交付する。
2人以上世帯:100万円、単身世帯:60万円
(18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合は18歳未満の者1人につき100万円加算する)
- その他 移住PR活動

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節	予算額	決算額	摘要	
旅費	864,000	653,896	移住フェア参加に係る旅費等	
需用費	25,000	15,987	一般事務消耗品、コピー代	
役務費	通信運搬費	43,000	郵便料金	
	手数料	7,000	0	移住フェア法被クリーニング代
委託料	保守点検委託料	91,000	90,200	移住定住特設サイト保守費用(90,200円株式会社ジャプロ)
負担金時補助及び交付金	その他負担金	45,000	20,000	官民連携まちづくり推進協議会
	その他補助金	11,637,000	8,064,400	子育て世代等応援定住促進奨励金・定住促進奨励金
合計	12,712,000	8,879,555		

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-1-1	鳥取県移住定住推進交付金	30,000	340,000	8 旅費	489,025	653,896
15-2-1-1	鳥取県市町村創生交付金	1,369,000	1,408,000	10 需用費	25,000	15,987
20-5-5-1	定住促進奨励金返還金(過年度分)	0	11,000	11 役務費	42,981	35,072
				12 委託料	90,200	90,200
				18 負担金補助及び交付金	8,855,300	8,084,400
	一般財源	8,103,506	7,120,555			
	計	9,502,506	8,879,555	計	9,502,506	8,879,555

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	オンラインを活用した関係人口の構築等を行い、移住定住につながる南部町と関わる裾野の拡大に努める。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	住宅支援を中心に移住施策が計画を上回る成果を上げ、定住促進に大きく寄与した。今後も、周知を重ね移住定住促進に繋げる。
	解決すべき課題への方策	住宅支援に関する現在の制度について精査を行い、より簡単で、南部町に移住・定住をしてみようと思える新たな制度の創設を検討する。

事業名	10	移住・定住促進対策事業	所属名	未来を創る課
-----	----	-------------	-----	--------

【奨励金】

目的	概要	積算根拠	相手先
固定資産税相当額を最大3年間支給することで、定住促進を図る。	定住促進奨励金	住居部分の土地及び住宅に関する固定資産税相当額を10/10負担	住宅を新築・購入し定住された方
町内の民間賃貸住宅に入居する際、家賃の一部を助成し、移住・定住促進を図る。	新婚・子育て世帯賃貸住宅家賃助成事業	入居奨励金 家賃1か月分 家賃奨励金 家賃負担相当額	新婚または子育て世帯
空き家に入居する移住者が自治会活動に円滑に参加できるよう支援する。	空き家を活用した移住者受入支援事業奨励金	1件につき20,000円	移住者を受け入れた自治会
引越しや住居費用の一部を補助することで、定住促進と地域活性化を図る。	結婚新生活支援事業	夫婦共に20代の場合 最大60万円 それ以外の場合 最大30万円	新婚世帯
東京圏への一極集中の是正および地方の中小企業等における人手不足の解消を図る。	移住支援金交付事業	世帯で移住の場合 100万円(18歳未満の者1人につき100万円加算) 単身での移住の場合 60万円	東京圏から南部町へ移住し要件を満たす方

①成果実績または活動実績

1. 定住促進奨励金

計画値40件 72,923円(R5度中央値)×40件≒3,037,000円

実績値53件(181人) 4,400,900円

うち新規申請者 26件(新たに住宅を新築・購入し定住された方)

継続申請者 27件

2. 新婚・子育て世帯賃貸住宅家賃助成事業(H27.4月以降に契約した物件が対象)

計画値20件 継続上限値180,000円×23件+新規上限値230,000円×8件=5,980,000円

実績値40件(89人) 3,502,500円

うち新規申請者 12件(県外からの入居者4名)

継続申請者(契約延長を含む) 28件

平成30年度から令和5年度までの申請者数 計96名

うち定住促進奨励金申請者 10名

3. 空き家を活用した移住者受入支援事業奨励金

計画値6件 20,000円×6件=120,000円

実績値6件(24人) 120,000円

4. 結婚新生活支援事業

計画値4件 300,000円×4件=1,200,000円

実績値1件 41,000円

5. 移住支援金交付事業

計画値1件 1300,000円×1件=1,300,000円

実績値0件

6. その他 移住PR活動

県外で行われる移住イベント等への参加

移住相談会5回

(岡山1回(来訪者20名)、大阪2回(相談者 計6名)、東京2回(相談者計15名))

②成果または活動の問題点

町内に家を建てたときの定住促進奨励金と民間賃貸住宅を借りたときの新婚・子育て世帯賃貸住宅家賃助成事業の奨励金の金額設定に課題があり、より定住につながる可能性の高い住宅建築が進んでいない。

※執行率70%以下の理由

結婚新生活支援事業、移住支援金交付事業については申請相談があったものの、要件を満たさなかったため申請とならず、執行率が70%以下となった。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費	会計名	一般会計	
事業名	11	空き家一括借上げ事業					所属名	未来を創る課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	空き家所有者、まちづくり会社、利用者					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	空き家を町が10年間借上げ、まちづくり会社に転貸後、利用希望者を入居させる					①移住定住・交流・観光の推進				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	空き家を活用することで、新たな住まいの選択肢が生まれ、移住・定住の促進につながる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ				
							①なんぶ創生 根拠法令・要綱等				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		令和6年度執行率					
	383,527 円	367,064 円	△ 16,463 円	△ 4.3 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減							
	405 千円	373 千円	△ 32 千円	△ 7.9 %							

南部町定住促進空き家活用住宅事業実施要綱

【事業内容】

空き家物件を町が10年間、固定資産税相当額/年にて借り上げている。
南部町が契約した物件7件の賃料(固定資産税相当額)及び火災保険料を所有者に支払う。
平成28年度以降の契約は所有者とNPOが直接契約するため町の予算は伴わない。

空き家物件 → 町 → 利用者へ
(10年間借上げ契約)
(固定資産税額/年)

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節	予算額	決算額	摘要
役務費	58,000	57,764	建物災害共済継続委託分担金
使用料及び賃借料	315,000	309,300	空き家一括借上げ事業賃料
合計	373,000	367,064	

①成果実績または活動実績

契約年度	状況	満了年度
1 H27	入居中	R6
2 H27	入居中	R6
3 H27	入居中	R6
4 H27	入居中	R6
5 H27	入居中	R6
6 H27	お試し住宅兼地域交流拠点	R7

空き家一括借り上げ契約終了物件 5件
内、
・契約終了後NPOで契約延長した件数 3件
・入居者と売買契約を結んだ件数 1件
・購入希望者を募集している件数 1件

空き家利活用シンポジウムin 南部町の開催 参加人数 約55名
空き家一括借り上げ契約終了物件 5件(うち3年以上入居は3件)

②成果または活動の問題点

今後契約終了するお試し住宅兼地域交流拠点についての、活用方法の検討が必要である。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
20-5-5-1	空き家活用住宅利用料	383,527	367,064	11 役務費	69,227	57,764
				13 使用料及び賃借料	314,300	309,300
	一般財源	0	0			
	計	383,527	367,064	計	383,527	367,064

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	賃貸借契約期間の満期を迎える物件について、所有者と協議し、まちづくり会社との直接契約に切り替える。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	NPOに事業移管した結果、地域とのマッチングを行うなどキメ細やかな対応ができるようになり、子育て世代の移住者が増加した。今後は広報戦略等をしっかりと練り、ターゲット層へ必要な情報が効果的に届くスキームを検討する。
	解決すべき課題への方策	契約終了後、特定空き家に移行しないように所有者の意向を聞きながら、検討を進める。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費	会計名	一般会計
事業名	13	生涯活躍のまち推進プロジェクト					所属名	未来を創る課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町民、関係人口					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	町の中で行われるイベント、事業に参画し、まちで活躍する人材になっていただく。					①移住定住・交流・観光の推進			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	人口が減少しても地域の活力を維持することができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ ①なんぶ創生 根拠法令・要綱等 まち・ひと・しごと創生法、地域再生法、なんぶ創生総合戦略、第2期生涯活躍のまち基本計画、地域再生計画:「全世代全員活躍のまち南部町」推進プロジェクト			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度執行率 63.92 %					
	13,855,868 円	6,351,967 円	△ 7,503,901 円	△ 54.2 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度執行率 63.92 %					
	16,759 千円	9,937 千円	△ 6,822 千円	△ 40.7 %						

【事業内容】

第2期生涯活躍のまち基本計画(R3～R7)でめざす全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の実現に向け、町及び地域再生推進法人、各種団体等との協働により、以下の機能を充実させるための各事業に取り組む。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

(円)

節	予算	決算	摘要
旅費 普通旅費	144,000	136,615	官民連携まちづくり協議会、ネイチャーポジティブ
委託料 その他の委託料	9,793,000	6,215,352	下記事業の委託料
合計	9,937,000	6,351,967	

①成果実績または活動実績

1 活躍・しごと

プロ人材の技術や取組む姿勢などに触れ、一緒に共創することで生涯に渡って活躍できる人材を育成する

①夢につながるこどものしごと講座

計画	小中学生を対象としたしごと講座を開催する。
実績	3,410,000円(委託料) 委託先:NPO法人スポnetなんぶ 3講座を開催し、町内小中学生71名が参加 内訳:南部町の工場ふしぎ発見ツアー(20名参加)、ゲームクリエイター講座(7名参加)、プロ卓球選手講座(44名参加)

②都市部企業人材による町内団体との共創協働人材育成プロジェクト(みんなまちプロジェクト)

計画	包括連携協定を結んでいる(株)ニコン日総プライムと南部町の団体等が協働し、地域や団体が抱える課題の解決を通じて地域及び団体の中心となって活躍する人材の育成を図る。年間を通じた定期的な面談、ヒアリング及びOJTを含む伴走支援を実施する。
実績	935,000円(委託料) 委託先:NPO法人なんぶ里山デザイン機構 ニコン日総プライムとまちづくり会社による共創協働を進めるため、年4回の現地訪問による面談や事業アドバイスを実施した。非訪問月はメール等による進捗管理、コメントによるフィードバックを実施した。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
14-2-1-1-4	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	6,867,300	3,107,676	1 報酬	51,300	0
				8 旅費	50,000	136,615
				10 需用費	19,968	0
				12 委託料	13,734,600	6,215,352
	一般財源	6,988,568	3,244,291			
	計	13,855,868	6,351,967	計	13,855,868	6,351,967

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	令和7年度は「全世代・全員活躍のまち南部町推進」プロジェクトの最終年度にあたるため、プロジェクトの総括を行い、次年度以降の方向性を定める。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	都市部企業等との連携により地域課題の解決にも結び付いており、事業を進めることで、関係人口として南部町と関わる仲間をさらに増やしていく。
	解決すべき課題への方策	町民に向けたイベントの実施であっても、企業等との協働事業であっても、年度当初から早めに契約締結を行い、事業の進捗管理を図っていく必要がある。

事業名	13	生涯活躍のまち推進プロジェクト	所属名	未来を創る課
-----	----	-----------------	-----	--------

2 ライフステージに合わせた住まいの検討

①都市部の大学等と連携した新しい住まいに関する試行・ワークショップ

計画	共立女子大と連携して空き家ワークショップを開催
実績	0円(共立女子大の予算で実施) 2月に共立女子大から12名が来町。不要になった紙をリサイクルする紙漉きワークショップを開催したほか、竹害の状況を確認するフィールドワークを実施。

3 都市部の企業・大学等と地方のあり方を共創する

①企業人材との協働事業(セレンディピティプログラム)

計画	(株)NNPと役場を含む町内団体との間で「地域課題の解決」を通じた人材循環を生み出すことで活躍人材の育成と地域課題解決事業を行う。町内での地域課題解決プログラム実施する。 【テーマ】緑水園でペット同伴の新しい宿泊プランを実現するために、必要となる事柄を洗い出し、具体的な実行プロセスを提案する。
実績	627,352円(委託料) 委託先:一社 つながる地域づくり研究所 オンライン意見交換3回、南部町でのフィールドワーク1回(1泊2日)実施した結果をもとに、ペット同伴の新しい宿泊プランを提案した。 (株)NNP社員、緑水園、産業課、企画政策課から11名が参加。

②脱炭素、ネイチャーポジティブをテーマとした都市部企業との地域課題解決プログラム

計画	南部町の耕作放棄地問題に対し、都市部企業と連携して課題解決を図る。 具体的には、南部町産ローゼルを活用した商品開発、開発した商品を通じての南部町の魅力発信を行う。
実績	1,243,000円(委託料) 委託先:(株)DDグループ、62,515円(旅費) 生産・収穫の協働、南部町産ローゼルを使用した商品の共同開発(3品)、大阪にあるグループ内店舗でのメディア発表会及びコラボメニューの期間限定販売(2種類、注文数333個)。

(株)DDグループによるローゼルプロジェクトの取組(PRタイムス)

[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001573.000007303.html](https://prt看imes.jp/main/html/rd/p/000001573.000007303.html)

この他、参画する官民連携まちづくり協議会に係る旅費74,100円を計上

第2期南部町生涯活躍のまち基本計画体系図(P.59 図5-7)

<https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/mirai/e760/>

※執行率が70%以下となったのは、ローゼルプロジェクトの費用の一部について連携企業に負担していただいたこと、関係人口の創出に向けた広報PR業務について情報発信の方法を検討した結果、実施を見送ったことが理由である。

②成果または活動の問題点

- ・ 活躍・しごと
事業のスタートが遅れたことで、子どもたちのニーズの把握が十分にできないまま実施に向かわなければならない事業があった。
- ・ 都市部の企業・大学等と地方のあり方を共創する
企業人材との協働事業では、実現可能なさまざまな提案が行われたが、検討先となった施設との調整がつかず、年度内に提案を実現させることができなかった。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費	会計名	一般会計
事業名	14	まちづくり会社支援事業						所属名	未来を創る課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町民、移住者、関係人口、まちづくり会社(なんぶ里山デザイン機構)						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	・町内への移住、定着の促進 ・就業希望者と仕事のマッチング ・関係人口の創出						①移住定住・交流・観光の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	移住・定住促進と多世代が活躍できるまちづくりを実現し、地域の活性化と人口減少を見据えた地域の活力の維持を目指す。						「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								①なんぶ創生 根拠法令・要綱等		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		南部町まちづくり会社活動費補助金交付要綱、南部町集落支援員設置要綱、第2期南部町生涯活躍のまち基本計画				
	17,151,000 円	17,825,718 円	674,718 円	3.9 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	17,157 千円	28,003 千円	10,846 千円	63.2 %						
			令和6年度執行率	63.66 %						

【事業内容】

「南部町まちづくり会社活動費補助金交付要綱」に基づき、町が指定する地域再生推進法人(なんぶ里山デザイン機構)が行う以下の地域再生事業を支援することで移住・定住を促進するとともに「全世代・全員活躍のまち南部町」の実現に協働して取り組む。

1. 空き家の改修費補助
2. お試し住宅兼地域交流拠点「えん処 米や」運営費補助
3. なんぶ里山デザイン大学
4. まちづくり会社の事業運営に係る人件費
5. 移住定住推進事業

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節	予算額	決算額	摘要
役務費 手数料	1,000	0	
委託料 その他の委託料	7,212,000	7,150,000	移住定住促進業務(7,150,000円 なんぶ里山デザイン機構)
負担金補助及び交付金 その他補助金	20,790,000	10,675,718	まちづくり会社活動費補助金
合計	28,003,000	17,825,718	

①成果実績または活動実績

1. 空き家の改修費補助

計画	集落にある空き家物件に移住者が入居することで移住者の里地里山の豊かな暮らしを実現するとともに受入集落の活性化および集落機能の維持を図る。 改修3件 10,000,000円。補助率10/10。
実績	改修0件 0円(補助金)

2. お試し住宅兼地域交流拠点「えん処 米や」運営費補助

計画	移住を検討している方に対し、南部町の暮らしを体験していただくことで地域住民との交流を促し、移住後のギャップを減らすとともに、交流スペースによる地域を活性化する取組む。 656,000円 お試し住宅利用人数:40人。補助率10/10。
実績	656,000円(補助金) お試し住宅利用者数:21件46人。交流スペース利用者数:173件1,781人。 デジタル田園都市国家構想交付金:656,000円×1/2

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
14-2-1-1	地方創生推進交付金	4,663,000	0	12 委託料	5,995,000	7,150,000
14-2-1-14	デジタル田園都市国家構想交付金	0	1,828,000	18 負担金補助及び交付金	11,156,000	10,675,718
17-1-4-1	メルカリ寄付金	0	0			
17-1-3-1	企業版ふるさと納税	2,500,000	0			
	一般財源	9,988,000	15,997,718			
	計	17,151,000	17,825,718	計	17,151,000	17,825,718

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	引き続き地域振興協議会等と連携して空き家の掘り起こしを行い、まちづくり会社による事業を活性化させる。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	空き家物件の情報発信を図り、移住希望者とのマッチング支援を強化する。また、移住者の相談から定住まで一貫した支援体制を構築する。
	解決すべき課題への方策	空き家利活用の成功事例を積極的に発信しながら物件の確保に努め、移住を考える方の希望がかないやすくなるような環境を整えていく。

事業名	14	まちづくり会社支援事業	所属名	未来を創る課
-----	----	-------------	-----	--------

3.なんぶ里山デザイン大学

計 画	町民を講師とした南部町の里地里山をフィールドに幅広い学びの場を提供する。 500,000円 参加者数:90人 補助率10/10
実 績	500,000円(補助金) 延べ190人参加。実績額:931,467円 デジタル田園都市国家構想交付金:500,000円×1/2。

4.まちづくり会社の事業運営に係る人件費

計 画	南部町から指定された地域再生推進法人として、なんぶ里山デザイン機構が行政の補完的な立場で「交流人口の増加」や「生涯活躍のひとづくり」に取り組み、なんぶ創生総合戦略の施策の推進を図る。 9,634,000円 職員2名分の人件費
実 績	9,519,718円(補助金) 9,519,718円については集落支援員制度による特別交付税措置(人件費2名分)。

5.移住定住推進事業

計 画	移住希望者に対し、専門窓口を設置することで移住検討段階から入居後のアフターフォローまでをきめ細やかに行うことで移住者数の増加を図る。 7,211,600円 入居希望相談件数:47件
実 績	7,150,000円(委託料) 入居相談:47件126名。 デジタル田園都市国家構想交付金:2,500,000円×1/2。 4,474,890円については集落支援員制度による特別交付税措置(人件費1名分)。

②成果または活動の問題点

1.空き家の改修費補助

入居希望者のニーズに合わせて物件の改修を行うことに変更したところ、令和6年度は管理物件とのマッチングがうまくいかず、期間内の新規改修に至らなかった。なお、既改修物件において定期修繕等を行ったほか、入居者の入れ替わりがあり、南部町に住みたい方の受け皿にはなっている。
※執行率が70%を下回ったのは、新規改修につながらなかったことによる。(計画3件に対し、実績0件)

2.お試し住宅兼地域交流拠点「えん処 米や」運営費補助

チャレンジキッチン利用者が町内で起業するなど地域の活性化に寄与したが、お試し住宅利用者の移住にはつながらなかった。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費	会計名	一般会計
事業名	15	JOCA連携事業						所属名	未来を創る課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	あらゆる方(町民、関係人口等)、JOCA						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	青年海外協力隊経験者のスキルや経験を活用した生涯活躍のまちづくりの促進						①移住定住・交流・観光の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	・生涯活躍のまちづくりの拠点エリアである法勝寺エリアでのごちやまぜによる賑わいの創出 ・町内全域における生涯活躍のまちづくりの推進						「五つの挑戦」から見た位置づけ ①なんぶ創生 根拠法令・要綱等 地域再生法、なんぶ創生総合戦略、第2期南部町生涯活躍のまち基本計画、鳥取県南部町における地方創生に係る基本協定書		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減					
	12,012,000 円	12,100,000 円	88,000 円		0.7 %					
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減		令和6年度			
	12,101 千円	12,650 千円	549 千円		4.5 %		執行率	95.65	%	

【事業内容】

人材誘致によるまちづくり活動支援業務

- 福祉を切り口とした多世代・多文化の交流・活躍の場づくり
 - ・ カフェ機能を備えた法勝寺宿の交流スペースにおけるごちやまぜの実践
 - ・ ごちやまぜによる多世代・多文化交流イベントの企画運営
- 「装う」から始まるwell-being拡大の取り組み
 - ・ 独居高齢者等を中心に“装う”ことで他者とのつながりを拡大し、活躍の輪をつなげる取り組み
- 住民協働による地域活動支援
 - ・ 地域振興協議会、地域再生推進法人と連携した地域活動支援

【決算の状況】

(計画)及び(実績) (円)

節	予算額	決算額	摘要
委託料	12,650,000	12,100,000	人材誘致によるまちづくり活動支援業務

①成果実績または活動実績

多文化・多世代交流および活躍の場づくり	
・ めぐみの里マルシェ	1,479人
・ 法勝寺温泉等イベント実施	8回

「装う」から始まるwell-being拡大の取り組み	
・ 地域からの参加、協力依頼件数	6回
・ 職場体験の受入れ(中学生)	11人

住民協働による地域活動支援	
・ 地域活性化・課題解決・まちづくりイベント実施	5回
・ イベント参加者数	1,152人

②成果または活動の問題点

他の地域再生法人との連携が希薄化している。
イベント等への新規参加者の輪が広がっていない。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
14-2-1-1	地方創生推進交付金	5,906,500	0	12 委託料	12,012,000	12,100,000
14-2-1-14	デジタル田園都市国家構想交付金	0	6,050,000			
	一般財源	6,105,500	6,050,000			
	計	12,012,000	12,100,000	計	12,012,000	12,100,000

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	法勝寺宿にある施設を拠点に、福祉を切り口としたごちやまぜによる交流や活躍の場を増やす取組みを関係各所と連携しながら拡大させる。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	ごちやまぜの取組みに共感していただける協力者を巻き込みながら活躍の場の拡大を図る。
	解決すべき課題への方策	毎月実施している地域再生法人連絡会議を通じて、実施事業の日程調整・協力体制の構築などを協議するとともに、他の法人の力も借りながら情報発信に努め、参加者の輪を広げていく。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費	会計名	一般会計
事業名	17	なんぶ創生総合戦略推進事業						所属名	未来を創る課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	南部町、町民、関係人口						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	持続可能な南部町の実現						①移住定住・交流・観光の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	なんぶ創生総合戦略の進捗管理及び効果検証を行うことで町が行う地方創生施策の充実・強化が図られる。						「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								①なんぶ創生 根拠法令・要綱等		
						まち・ひと・しごと創生法				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減					
	0円	0円	0円		100.0%					
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減		令和6年度			
	25千円	25千円	0千円		0.0%		執行率	0.00	%	

【事業内容】

- 第2期総合戦略(令和2年度～令和6年度)進行管理と効果検証。
- 国の戦略改訂に対応した第3期総合戦略の策定。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

(円)

節	予算額	決算額	摘要
報償費	22,000	0	委員報酬
役務費	3,000	0	資料郵送料
合計	25,000	0	

※南部町第2次総合計画後期基本計画の策定遅延にあわせ、第3期なんぶ創生総合戦略の策定に向かうための委員会を開催することができず、予算執行ができなかった。

①成果実績または活動実績

・第3期なんぶ創生総合戦略策定方針の検討

第2期なんぶ創生総合戦略の計画期間はR6年度末までとなっており、R6年度中の第3期総合戦略の策定をめざしていたが、事務の進捗が進まないなかで、R6.12に国が「地方創生2.0」の基本的な考え方を示し、令和7年中に基本構想等を示すとの発表があったため、第2期総合戦略を1年間延長することとした。

・第2期なんぶ創生総合戦略(令和7年3月改訂)

<https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/mirai/senryaku/>

②成果または活動の問題点

第3期なんぶ創生総合戦略を策定すべき時期に策定するため、あわせて過年度施策の効果検証を行うための委員会開催等の計画、準備が不十分で、委員会を開催することができなかった。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				7 報償費	0	0
				11 役務費	0	0
	一般財源	0	0			
	計	0	0	計	0	0

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

国・県が示す方針を踏まえつつ、関係各課と連携し実効性の高い計画を策定するとともに進捗管理及び効果検証を行う。

②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成できた点をさらに伸ばす方策

令和7年度中に第3期なんぶ創生総合戦略を策定する。

解決すべき課題への方策

早期に第2期総合戦略の検証・第3期総合戦略の策定に向けたスケジュールを定め、計画的に実施する。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費	会計名	一般会計
事業名	20	南部町総合計画推進事業						所属名	未来を創る課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町民等						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	町の将来像と基本理念実現のため、総合的、計画的にまちづくりを推進する。						①開かれた町政と自治協働の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	町のめざす姿を明確にし、マネジメントプロセスを通してその実現に近づけることができる。後期基本計画を策定する。						「五つの挑戦」から見た位置づけ ①なんぶ創生 根拠法令・要綱等		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		令和6年度執行率	74.77 %			
	893,988 円	48,600 円	△ 845,388 円	△ 94.6 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	931 千円	65 千円	△ 866 千円	△ 93.0 %						

【事業内容】

町の最上位計画として策定されている南部町第2次総合計画の進捗、管理を行う。
 ・基本構想:10年間(令和元年度から令和10年度)
 基本理念や現状に基づき、将来像とそれを実現するための政策を定めるもの。
 ・基本計画:5年間(前期基本計画:令和元年度から令和5年度、後期基本計画:令和6年度から令和10年度)
 基本構想に定めた政策等を実現するために、施策・基本事業をまとめたもの。
 令和6年度を始期とする後期基本計画の策定に遅延が生じており、令和6年度中の策定を目指した。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節	細節	予算額	決算額	摘要
報酬	非常勤等報酬	55,000	48,600	町民委員会委員報酬 2,700円×18名
需用費	消耗品費	10,000	0	
	合計	65,000	48,600	

①成果実績または活動実績

後期基本計画策定への意見集約のため、総合計画町民委員会を開催
 第1回:8月22日
 第2回:12月5日、6日
 第3回:3月14日

令和6年度中の策定には至らず、次のとおり令和7年度に策定、公表がずれ込んだ結果となった。
 パブリックコメントの実施:R7.5.21~R7.5.30 意見提出2件
 南部町第2次総合計画 後期基本計画の公表 R7.6.18
 南部町第2次総合計画URL
<https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/mirai/4/x798/>

②成果または活動の問題点

意見集約のための町民委員会は開催したが、後期基本計画の策定スケジュールに遅延が生じた。
 本来行うべき行政評価について、後期基本計画の策定が遅延したため実施できなかった。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				1 報酬	21,600	48,600
				10 需用費	20,988	0
				12 委託料	851,400	0
	一般財源	893,988	48,600			
	計	893,988	48,600	計	893,988	48,600

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	第2次総合計画7年目の進捗管理と運用を行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	行政評価、マネジメントを基本とした進捗管理を行う。
	解決すべき課題への方策	進捗に遅延が生じないよう計画的なスケジュール管理を行う。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費	会計名	一般会計	
事業名	23	みんなが集う地域交流拠点支援事業						所属名	未来を創る課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	一般社団法人 手間山の里						総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	安定的な地域交流拠点の運営						①移住定住・交流・観光の推進			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	コミュニティづくりに必要な住民の集いの場を継続的・安定的に提供する。						「五つの挑戦」から見た位置づけ ①なんぶ創生 根拠法令・要綱等 なんぶ創生総合戦略(豊かな里に調和するまちづくり)、 みんなが集う地域交流拠点支援事業補助金交付要綱			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		令和6年度執行率					
	320,000 円	380,000 円	60,000 円	18.8 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減							
	320 千円	380 千円	60 千円	18.8 %							

【事業内容】

手間地区サテライト交流拠点施設を運営する(一社)手間山の里に対し、施設の公益的な部分を維持するための費用の補助を行う。

【決算の状況】

(計画)

補助金算定の考え方

令和4年度実績を公共部分の面積で按分したものを補助限度とする。

・補助対象経費

	令和4年度実績
光熱水費	876,486
通信費	77,332
地代家賃	200,000
清掃費	100,402
保険料	78,320
計	1,332,540

令和4年度実績額:1,332,540円・・・(A)

延床面積:182.3㎡・・・(B)

うち、交流スペース:51.1㎡・・・(C)

<計算式>(補助限度額)

$(A) \times \{(C) / (B)\} \div 380,000$ 円

(実績)

①成果実績または活動実績

・補助対象経費

	令和6年度実績
光熱水費	734,541
通信費	76,779
地代家賃	200,000
清掃費	274,849
保険料	69,900
計	1,356,069

令和6年度実績額:1,356,069円・・・(A)

延床面積:182.3㎡・・・(B)

うち、交流スペース:51.1㎡・・・(C)

<計算式>

$(A) \times \{(C) / (B)\} \div 380,115$ 円 > 380,000円(上限額)

【交流スペース利用者数推移】

令和2年度	2,500 人
令和3年度	2,549 人
令和4年度	3,310 人
令和5年度	3,406 人
令和6年度	3,390 人

町内外の利用者の延べ利用人数

②成果または活動の問題点

地域交流拠点として欠かせない施設になってきているものの、利用者数は増えていない。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				18 負担金補助及び交付金	320,000	380,000
	一般財源	320,000	380,000			
	計	320,000	380,000	計	320,000	380,000

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

地域の小中学生から高齢者までの多世代の集いの場となっており、縁側での野菜市、各種イベントにも取組み地域の賑わい創出に成果を上げていることから、今後も支援を続ける。

②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成できた点をさらに伸ばす方策

今後も多世代・地域間交流等の拠点として持続的・安定的な運営に努める。

解決すべき課題への方策

幅広いニーズに対応できるような施設運営を図る取組みが必要である。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費	会計名	一般会計	
事業名	27	しごとマッチング事業					所属名	未来を創る課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町民、町内外の事業所					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	求職と求人のマッチングや個々の希望に応じた働き方を実現し、事業所の働き手の確保					①移住定住・交流・観光の推進				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	しごとコンビニ事業を推進することで、人手不足の解消、働き方改革、業務改善に役立てる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ ①なんぶ創生 根拠法令・要綱等 第2期なんぶ創生総合戦略(なんぶ里山デザイン機構との協働)、第2期南部町生涯活躍のまち基本計画				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		令和6年度執行率					
	24,854,831 円	21,317,901 円	△ 3,536,930 円	△ 14.2 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減							
	25,230 千円	23,108 千円	△ 2,122 千円	△ 8.4 %							

【事業内容】

ハローワークの無料職業紹介事業に加え「南部町版しごとコンビニ事業」を普及させることで、従来の求職・求人のマッチングでは対応できなかった、短時間就労のニーズに対応できるようにしていく。

登録者は南部町在住の方に限る。登録者数 182名 稼働率44.50%

<https://www.nanbu-satovama.jp/sc/>

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節	予算額	決算額	摘要
委託料	23,108,000	21,317,901	しごとコンビニ事業 18,700,000円 なんぶ里山デザイン機構 南部町役場依頼分 計 2,617,901円 なんぶ里山デザイン機構

委託料内訳

人件費、運営費、運営指導委託等 20,108,000円
役場各課の作業委託料 3,000,000円

委託料内訳

人件費、運営費、運営指導委託等 18,700,000円
役場各課の作業委託料 2,617,901円

①成果実績または活動実績

(役場)

- ・納税通知書等封入封かん(各町税、保険証発送等)
- ・スマホ教室講師
- ・給食コンテナ移動
- ・校内清掃
- ・中学校期末テスト採点業務

(その他事業所)

- ・車いす清掃
- ・ゴルフ場内目土作業、ポーター業務
- ・インスタグラム投稿等

売上金額 5,531,707円
報酬総額 3,291,454円 (R7.3月末現在)

②成果または活動の問題点

登録者に対する稼働率が上がっていない。
結果として100名弱の利用者のための事業となっている。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
14-2-1-1-4	地方創生推進交付金	12,427,415	11,617,900	12 委託料	24,854,831	21,317,901
	一般財源	12,427,416	9,700,001			
	計	24,854,831	21,317,901	計	24,854,831	21,317,901

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	短時間就労のニーズと事業所が抱える課題(人手不足の解消、働き方改革、業務改善等)とのマッチングを図ることにより、町民が生涯活躍することができるしくみを整えていく。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	町内外の事業所への営業や登録者への説明、研修などを行い、働きたい人としごとをつなぐ仕組みを確実なものにしていくことができた。今後も委託事業者との連携を図る。
	解決すべき課題への方策	しごとコンビニの理念や仕組みを理解してもらうための取組みや関係機関との調整を行っていく。新規業務の開拓を行い、登録者数の増加を目指すとともに、業務の多岐化に取り組む。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費	会計名	一般会計
事業名	40	地域活性化起業人(企業人材派遣制度)活用事業						所属名	未来を創る課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	持続可能なまちづくりに向けた取組み					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	民間企業で培われた専門知識・業務経験・ノウハウ等を活用した持続可能なまちづくりに向けた取組みを発展させていく。					①移住定住・交流・観光の推進			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	まちづくり会社のめざすビジョンの実現に向けて、企業人材の目線から、現状と課題を把握することができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ ①なんぶ創生 根拠法令・要綱等			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	総務省地域活性化起業人制度(企業人材派遣制度)推進要綱					
	8,100,000 円	9,715,717 円	1,615,717 円	19.9 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	8,100 千円	12,768 千円	4,668 千円	57.6 %						
		令和6年度執行率	76.09 %							

【事業内容】

総務省の地域活性化起業人制度(企業人材派遣制度)を活用し、株式会社ニコン日総プライムの企業人材を南部町に誘致し、地方創生をはじめとする、持続可能なまちづくりの取組みを深化させるためのサポートを依頼した。また、独立行政法人国際協力機構(JICA)の派遣事業を行い、南部町における「多文化共生を通じたまちづくり」を推進するための合同ワークショップを開催した。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節		予算額	決算額	摘要
旅費	普通旅費	305,000	63,122	出張旅費
需用費	消耗品費	100,000	94,215	なんぶeスポーツDAYチラシ
委託料	その他の委託料	263,000	259,380	なんぶeスポーツDAY開催業務 259,380円 株式会社LNI
負担金補助及び交付金	その他負担金	12,100,000	9,299,000	地域活性化起業人制度負担金 JICA連携事業に係る負担金
合計		12,768,000	9,715,717	

①成果実績または活動実績

負担金補助及び交付金 9,299,000円
 ○株式会社ニコン日総プライムへの負担金 8,100,000円
 特別交付税措置あり (年間560万円/人)
 ○JICAへの負担金 1,199,000円

○地域活性化起業人

・あんぽ柿に関する視察(福島県) 11月18日～19日 3名
 ・なんぶeスポーツDAY(キナルなんぶ) 3月16日
 参加者:49名(申込50名) 来場者:350名
 ボランティアスタッフ 7名(高校生 eスポーツ部所属部員)
 ・なんぶ里山デザイン機構における法人組織の強化(労務管理、しごとコンビニ事業普及のための企画立案、空き家事業の経費見直し、ふるさと納税返礼品開発等)
 ○JICA職員の派遣
 南部町における「多文化共生を通じたまちづくり」を推進するための合同ワークショップの開催 11/11～13 延べ45名参加

②成果または活動の問題点

地域活性化起業人やJICA職員の活動の周知が行き届かず、地域課題の解決に向けた民間企業との協働の輪が広がらなかった。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
14-2-1-1-4	デジタル田園都市国家構想交付金	0	599,500	8 旅費	0	63,122
				10 需用費	0	94,215
				12 委託料	0	259,380
				18 負担金補助及び交付金	8,100,000	9,299,000
	一般財源	8,100,000	9,116,217			
	計	8,100,000	9,715,717	計	8,100,000	9,715,717

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	地域再生推進法人の組織強化に取り組んでいただいたことを継続するとともに、次年度は南部町まちづくりマネージャーとして、サテライトオフィス誘致、企業版ふるさと納税等の取組みに尽力いただく。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	なんぶ里山デザイン機構の法人組織の強化に取り組む、サポートしていただいた。組織改革や各事業への提言等していただいたことで、職員の働き方を見直すことができ、法人のより一層の業務改善に取り組んでいく。
	解決すべき課題への方策	地域課題の解決に向けて民間企業との協働の推進を図るために、早めの広報、企業回り等による周知を行う。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	10	地域自治振興費	会計名	一般会計
事業名	1	地域振興協議会会長等報酬						所属名	未来を創る課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	地域振興協議会会長、副会長						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	地域振興協議会の組織体制維持						①開かれた町政と自治協働の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地域振興協議会の地域特性を活かした事業の展開						「五つの挑戦」から見た位置づけ ①なんぶ創生 根拠法令・要綱等		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		南部町特別職の職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する条例、 南部町地域振興区の設置等に関する 条例			
	11,079,825 円	11,078,498 円	△ 1,327 円		△ 0.0 %					
前年度比較	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減		令和6年度	99.81 %		
	11,089 千円	11,100 千円	11 千円		0.1 %		執行率			

【事業内容】

7地域振興協議会の会長・副会長の報酬を支払う。

【決算の状況】

(計画)及び(実績) ①成果実績または活動実績

費目	予算額(円)	決算額(円)	備考
報酬	11,055,000	11,054,400	会長 100,000円/月×7名×12月 副会長 31,600円/月×7名×12月
共済費(労災保険料)	45,000	24,098	年額24,098円
計	11,100,000	11,078,498	

会長、副会長を中心に地域振興協議会の組織体制維持が図られている。

②成果または活動の問題点

会長、副会長の求められる役割などを整理し、改めて処遇についての検討が必要。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				1 報酬	11,054,400	11,054,400
				4 共済費	25,425	24,098
	一般財源	11,079,825	11,078,498			
	計	11,079,825	11,078,498	計	11,079,825	11,078,498

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容	協議会設置から17年が経過し、協議会の役割はますます重要になっているため、会長副会長の役割、処遇について見直しが必要な時期にきている。
②次年度へ向けた次への行動・具体策	
達成できた点をさらに伸ばす方策	会長副会長会の活動の現状を把握し、活動や役割に応じた処遇を整理するため、他の地域運営組織等の情報を収集する。
解決すべき課題への方策	今後の担い手確保や人材育成の面から、求められる役割に応じた処遇について検討する。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	10	地域自治振興費	会計名	一般会計	
事業名	2	地域振興交付金事業					所属名	未来を創る課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	各地域振興協議会					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	各地域振興協議会が地域住民の意見及び要望を事業に反映させ自主的かつ効率的に活動するための財政的支援					①開かれた町政と自治協働の推進				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地域課題の解決、交流事業の継続					「五つの挑戦」から見た位置づけ ①なんぶ創生 根拠法令・要綱等				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		南部町地域振興協議会支援交付金規則					
	62,851,525 円	72,141,257 円	9,289,732 円	14.8 %							
前年度比較	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減		令和6年度執行率	98.21 %				
	63,170 千円	73,455 千円	10,285 千円	16.3 %							

【事業内容】

規則に基づき、地域振興協議会に交付金(事務局員人件費2名分、文書配布手数料、専門部運営費、地域活動活性化経費(防災、地域福祉、新規事業等)、軽自動車燃料費・保険料、敬老会費等)を交付する。

【決算の状況】

(計画)及び(実績) ①成果実績または活動実績

地域振興協議会名	予算額	決算額	摘要
東西町地域振興協議会	10,008,000	9,334,050	東西町ハロウィン(11/3、32人)、地域支え愛マップ(12/22、23人)
天津地域振興協議会	10,481,000	10,336,000	運動会(10/6、300人)
大国地域振興協議会	9,491,000	9,491,000	防災訓練(6/29)、相談窓口(平日)
法勝寺地区地域振興協議会	11,542,000	11,542,000	敬老会(9/15、52人)、法勝寺地区運動会(10/6、300人)
南さいはく地域振興協議会	10,275,000	9,984,000	上長田・東長田合同運動会(10/6、200人)、かまくらまつり(11/3、700人)
あいみ手間山地域振興協議会	11,544,000	11,340,207	地域見守り懇談会(7/9、50人、11/26、60人)
あいみ富有の里地域振興協議会	10,114,000	10,114,000	あいみ手間山・富有の里合同運動会(9/29、400人)
合計	73,455,000	72,141,257	

各地域振興協議会の情報掲載ページ

<https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/mirai/11/>

②成果または活動の問題点

集落や地域の担い手がいなくなる中で、地域振興協議会が集落の補完的機能を十分発揮できていない。地域のあり方の再検討が必要。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				18 負担金補助及び交付金	62,851,525	72,141,257
	一般財源	62,851,525	72,141,257			
	計	62,851,525	72,141,257	計	62,851,525	72,141,257

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	地域の状況に応じて、地域の課題を地域で解決できるような取り組みを支援していく。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	地域振興協議会の横の連携、先進的な事例の紹介、新たな取り組みに対する支援を行う。
	解決すべき課題への方策	地域振興協議会の現状を把握し、南部町における地域振興協議会のあるべき姿を検討する。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	10	地域自治振興費	会計名	一般会計
事業名	3	地域の安心まちづくり事業						所属名	未来を創る課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町内の集落等						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	集落内の生活環境の改善を図る						①開かれた町政と自治協働の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	環境整備、生活における利便性向上						「五つの挑戦」から見た位置づけ ④共生と防災のまちづくり 根拠法令・要綱等		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		南部町地域の安心まちづくり事業補助金交付要綱				
	2,673,000 円	3,138,000 円	465,000 円	17.4 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減		令和6年度	82.86 %			
	2,800 千円	3,787 千円	987 千円	35.3 %		執行率				

【事業内容】

「南部町地域の安心まちづくり事業補助金交付要綱」に基づき、集落等が生活環境改善を目的として行った補助対象となる事業費の半額を助成。
(5年間で上限30万円/1集落)

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節	予算額	決算額	摘要
負担金補助及び交付金 その他補助金	3,787,000	3,138,000	南部町地域の安心まちづくり事業補助金

①成果実績または活動実績

公民館関係(17件)、環境整備(5件)、備品購入(3件)、その他(4件) 合計29件
・前年度(24件)より多くの集落に事業を活用していただいた。

②成果または活動の問題点

・公民館の修繕、エアコン等備品の購入など、物価の高騰により集落負担が増しているなか、対応が困難になる集落が見受けられてきている。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-1-1	鳥取県市町村創生交付金	1,033,000	0	18 負担金補助及び交付金	2,673,000	3,138,000
	一般財源	1,640,000	3,138,000			
	計	2,673,000	3,138,000	計	2,673,000	3,138,000

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	5年計画の2年目が終わったところであり、事業の未利用集落に残り3年間、計画的に補助請求してもらえるよう体制を整え、事業を継続する。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	より広く利用してもらうため、ホームページや広報で補助金の周知を図る。申請については、電子申請サービスでもできる旨を周知する。
	解決すべき課題への方策	物価高騰などの影響を受ける集落からの要望を把握、整理し、次の5年を見据えた制度の改正について検討を行っていく。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	10	地域自治振興費	会計名	一般会計
事業名	4	地域振興区支援事業						所属名	未来を創る課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	地域、地域住民						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	自立性を高め魅力ある地域づくりを行っている。						①開かれた町政と自治協働の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地域の実情や時代に対応した集落の維持及び活性化						「五つの挑戦」から見た位置づけ ⑤行財政改革 根拠法令・要綱等 南部町地域振興区の設置等に関する条例		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		令和6年度執行率				
	1,772,124 円	1,908,720 円	136,596 円	7.7 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	1,880 千円	1,918 千円	38 千円	2.0 %			99.52 %			

【事業内容】

住民と行政の協働のもと、地域の実情や時代に対応した集落の維持及び活性化を推進するため、①～③を行う。

- ①各地域振興協議会の使用する軽自動車の借り上げ
- ②地域づくりの研修
- ③地域づくり活動の支援

【決算の状況】

(計画)及び(実績) ①成果実績または活動実績

費目	予算額(円)	決算額(円)	備考
報償費	164,000	162,700	謝金:研修講師(3回)、研究報告会(5名)
普通旅費	20,000	12,300	交通費:研修講師(3回)、研究報告会(2名)
需用費(消耗品費)	89,000	89,000	研修資料コピー代等
使用料及び賃借料	1,645,000	1,644,720	
借上料	1,645,000	1,644,720	軽バンリース借上料(7台)
計	1,918,000	1,908,720	

令和6年度使用実績 (単位:km)

区分	年間走行距離	総走行距離
東西町	2,909	11,778
天津	3,150	11,557
大国	3,019	12,397
法勝寺地区	5,092	18,247
南さいはく	9,203	36,275
あいみ手間山	2,715	13,486
あいみ富有の里	8,952	33,540

各協議会の使用する軽自動車のリース
ダイハツ:ハイゼットカーゴ
初年度登録:令和3年7月
リース契約満了:令和8年7月

研修会及び研究報告会を通じて、地域振興協議会の成果や課題が共有された。

②成果または活動の問題点

地域振興協議会の将来について、検討を進めていくことが必要。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				7 報償費	67,500	162,700
				8 旅費	7,380	12,300
				10 需用費	52,524	89,000
				13 使用料及び賃借料	1,644,720	1,644,720
	一般財源	1,772,124	1,908,720			
	計	1,772,124	1,908,720	計	1,772,124	1,908,720

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	今後の南部町における地域振興協議会のあるべき姿を検討していく。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	地域振興協議会職員対象研修等を実施する。
	解決すべき課題への方策	地域のあり方検討会を通じて、地域振興協議会の将来について検討する。

款	2	総務費	項	5	統計調査費	目	1	統計調査総務費	会計名	一般会計
事業名	1	統計調査員確保対策事業						所属名	未来を創る課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①町民(20～70歳位)②登録統計調査員						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	①新規の登録調査員になってもらい、②今後も継続して、統計調査に対する熱意の保持及び実務知識の付与に努める。						①移住定住・交流・観光の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	常時必要な統計調査員を確保することで、統計調査を円滑に実施することができ、行政施策の基礎資料となる情報を正確に収集できる。						「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	鳥取県統計調査員確保対策要綱				
		8,000 円	9,000 円	1,000 円	12.5 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度				
		8千円	9千円	1千円	12.5 %	執行率	100.00 %			

【事業内容】

法定受託事務である統計調査の調査員の確保及び円滑の実施を行うため、統計調査員希望者(あらかじめ統計調査員となる意思を有する者)を「登録調査員」として登録し、統計調査員の確保に資するとともに、その資質の向上を図る。

- 1.町民から統計調査員となる意思を有する方を確保する。
- 2.登録統計調査員から各種統計調査の調査員を募集する。
- 3.登録統計調査員へ統計に関する研修等の案内を送付する。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節		予算額(円)	決算額(円)	内容
需用費	消耗品費	5,000	5,000	コピー代
役務費	通信運搬費	4,000	4,000	郵送料
合計		9,000	9,000	

①成果実績または活動実績

令和6年度登録調査員数 7名

- ・ 2025年農林業センサスにおいて、登録調査員1名が調査員として選出された。

②成果または活動の問題点

統計調査に対する協力意識の低下や訪問困難世帯の増加から、新たに登録調査員を受けようとする人はほとんどなく、登録調査員制度の存続自体が課題である。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-3-1-4	統計調査員確保対策事業委託金	8,000	9,000	10 需用費	4,000	5,000
				11 役務費	4,000	4,000
	一般財源	0	0			
	計	8,000	9,000	計	8,000	9,000

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	統計調査員への理解が深まり、統計調査における精度と回収率の向上が図られる。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	研修などへの積極的な参加を募り、資質の向上に努める。
	解決すべき課題への方策	登録調査員制度の必要性など、県による統計調査の説明会などにおいて問題提起を行うとともに、登録人材確保に関する県の意見を踏まえながら、人材の確保に向けた広報等を行っていく。

款	2	総務費	項	5	統計調査費	目	2	指定統計費	会計名	一般会計	
事業名	1	学校基本調査							所属名	未来を創る課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町内の小中学校(学校教育法により設置されたすべての学校)					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	学校基本調査等に対し、正確なデータを提供する。					⑩快適な生活環境の整備				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	学校に関する基本的事項を調査することで、学校教育行政上の基礎資料を得ることが出来る。					「五つの挑戦」から見た位置づけ ④共生と防災のまちづくり 根拠法令・要綱等				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		統計法(平成19年法律第53号)に基づく基幹統計調査				
	5,800 円	5,800 円	0 円		0.0 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減						
	6 千円	6 千円	0 千円		0.0 %						
						令和6年度執行率	96.67 %				

【事業内容】

法定受託事務として毎年国から町へ委託されている事務である。文部科学省が所管する調査で毎年行われている。南部町においては、小学校3校、中学校2校について調査を行う。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節		予算額(円)	決算額(円)	内容
需用費	消耗品費	6,000	5,800	コピー代

①成果実績または活動実績

令和6年5月1日 調査期日(調査期日:調査対象の状況を把握するための基準日)

調査対象: 西伯小学校、会見小学校、会見第二小学校、法勝寺中学校、南部中学校

調査方法: 学校に調査票を配布し、各校はオンライン又は郵送で回答を行う。

小学校の主な調査項目: 教員数、職員数、学校別児童数、長期欠席者数

中学校の主な調査項目: 教員数、職員数、学校別生徒数、長期欠席者数、卒業後の状況

調査結果: 鳥取県統計課ホームページ <https://www.pref.tottori.lg.jp/321302.htm>

②成果または活動の問題点

町内にある5つの小中学校の調査回答に対する進捗状況を教育委員会と協力しながら把握・管理していく必要がある。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-3-1-4	学校基本調査委託金	5,800	5,800	10 需用費	5,800	5,800
	一般財源	0	0			
	計	5,800	5,800	計	5,800	5,800

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	学校に関する基本的事項を調査することで、学校教育行政上の基礎資料を得ることができる。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	引き続き、適正に調査を実施する。
	解決すべき課題への方策	県でのとりまとめに支障をきたすことがないよう、教育委員会との連携を密にとりながら、調査の進捗管理に努める。

款	2	総務費	項	5	統計調査費	目	2	指定統計費	会計名	一般会計	
事業名	2	国勢調査費						所属名	未来を創る課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町内に住んでいる全ての人(外国人を含む)及び世帯					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	町内に住んでいる全ての人及び世帯数などの把握					⑩快適な生活環境の整備				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	我が国の人口及び世帯の状況を明らかにし、法律を施行する際の人口要件(法定人口)として利用する。国や地方公共団体の行政施策の為の基礎資料を得る。					「五つの挑戦」から見た位置づけ				
							④共生と防災のまちづくり				
					根拠法令・要綱等						
					統計法(平成19年法律第53号)に基づく基幹統計調査						
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減							
	3,800 円	96,600 円	92,800 円	2,442.1 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減		令和6年度					
	4 千円	97 千円	93 千円	2,325.0 %		執行率	99.59	%			

【事業内容】

国の最も基本的で重要な統計調査であり、結果は議員定数、地方交付税などの算出根拠となる。5年ごとに実施され前回は令和2年実施。令和6年度は、調査区設定など令和7年国勢調査の準備事務を行う。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節	細節	予算額(円)	決算額(円)	内容
需用費	消耗品費	87,000	86,600	コピー代
役務費	通信運搬費	10,000	10,000	郵送料
合計		97,000	96,600	

①成果実績または活動実績

調査区設定

令和2年国勢調査 89調査区 → 令和7年国勢調査 93調査区

近年のアパート建設等により賃貸住宅入居世帯の増加が進んでおり、これらの状況、実際の世帯数等を勘案しながら調査区を設定した。

②成果または活動の問題点

- ・ 実調査において、世帯へ訪問など業務内容の負担が大きく、調査員の確保が難しい。
- ・ 実調査において、プライバシーへの懸念、回答方法の煩雑さにより、回答率の低下が懸念される。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-3-1-4	国勢調査委託金	3,800	96,600	10 需用費	3,800	86,600
				11 役務費	0	10,000
	一般財源	0	0			
	計	3,800	96,600	計	3,800	96,600

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

我が国の人口及び世帯の状況を明らかにし、法律を施行する際の人口要件(法定人口)として利用する。国や地方公共団体の行政施策の為の基礎資料を得る。

②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成できた点をさらに伸ばす方策

調査区設定にあたっては、アパートの建設、転入・転出による世帯数の増減など、最新の居住状況ができる限り把握し、調査区の適切な設定に努める。

解決すべき課題への方策

・指導員・調査員が安心して調査を行えるようにコミュニケーションを密に行い、サポート体制を強化する。
・県と協力して広報を強化し、調査の周知とオンライン回答の促進を行う。

款	2	総務費	項	5	統計調査費	目	2	指定統計費□	会計名	一般会計
事業名	3	経済センサス調査							所属名	未来を創る課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町内の農林業を営む個人事業者等を除くすべての事業所及び企業						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	事業所及び企業の経済活動を明らかにし、我が国における包括的な産業構造を明らかにする。						⑩快適な生活環境の整備		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	事業所・企業を対象とする各種統計調査の実施のための母集団情報を整備する。						「五つの挑戦」から見た位置づけ		
							④共生と防災のまちづくり			
						根拠法令・要綱等		統計法(平成19年法律第53号)に基づく基幹統計調査		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減					
	5,400 円	5,400 円	0 円		0.0 %					
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減		令和6年度執行率	90.00 %		
	6 千円	6 千円	0 千円		0.0 %					

【事業内容】

- 活動調査：全分野の売上金額や費用など経理項目を網羅的に把握し経済活動を全国的及び地域別に明らかにし、各種統計調査の母集団情報を得ることを目的として、事業所の名称、所在地、動状況を把握する。活動調査は5年ごとに実施し、今回は令和8年度である。
- 調査区管理：毎年度総務大臣が指定する調査区管理の基準日(調査区修正報告基準日)時点における、発生の有無及び調査区の修正状況について、調査区修正報告関係書類により報告する。

<調査区管理における修正要件>

- 調査区を利用する事業所又は企業を対象とする統計調査を実施する際に、以下の要件により、現行の調査区のままで、当該統計調査の実施上著しい支障が生じる場合
 - 区画整理、道路・河川等の新設・改修、災害等により地形・地物が著しく変化した場合
 - 調査区内の企業数が著しく増減した場合
企業数：会社(外国の会社を除く。)、会社以外の法人及び個人経営の事業所については企業・団体の数、外国の会社及び法人でない団体については事業所の数をいう。
 - その他調査区の区域を修正すべき特殊な事情がある場合
- 地方自治法(昭和22年法律第67号)の規定に基づく地方公共団体の名称の変更、廃置分合若しくは境界変更又は市町村相互間の変更があった場合
- 調査区境界の変更にかかわらず、住居表示の実施など、調査区内の住所情報の変更があった場合

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節		予算額(円)	決算額(円)	内容
需用費	消耗品費	4,000	3,400	コピー代
役務費	通信運搬費	2,000	2,000	郵送料
合計		6,000	5,400	

①成果実績または活動実績

調査基準日令和6年6月1日において、調査区修正が必要ないことを確認した。 調査区数 51

②成果または活動の問題点

令和8年度経済センサス活動調査において、プライバシーへの不安から回答率の低下が懸念される。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-3-1-4	経済センサス調査委託金	5,400	5,400	10 需用費	3,900	3,400
				11 役務費	1,500	2,000
	一般財源	0	0			
	計	5,400	5,400	計	5,400	5,400

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

調査結果は、国の各種行政施策ほか、町の各種行政施策や学術研究の基礎資料として利活用される。

②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成できた点をさらに伸ばす方策

引き続き適正に調査区管理を行う。

解決すべき課題への方策

南部町商工会に協力を依頼し、広報を強化することで事業所への周知と回答促進に取り組む。

款	2	総務費	項	5	統計調査費	目	2	指定統計費	会計名	一般会計	
事業名	4	農林業センサス調査						所属名	未来を創る課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町内の農林業経営体(農林業生産活動を行う方)等						総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	農林業センサスに対して、正確に回答する。						⑩快適な生活環境の整備			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	我が国の農林業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、農山村の実態を総合的に把握し、農林行政施策を行うための基礎資料を得る。						「五つの挑戦」から見た位置づけ			
								④共生と防災のまちづくり			
						根拠法令・要綱等					
						統計法(平成19年法律第53号)に基づく基幹統計調査					
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減							
	3,700 円	1,928,864 円	1,925,164 円	52,031.5 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減		令和6年度	88.68 %				
	4 千円	2,175 千円	2,171 千円	54,275.0 %		執行率					

【事業内容】

農林業センサスは我が国の農林業の生産・就業構造を明らかにするとともに、農山村の実態を総合的に把握し、農林行政の企画、立案、推進のための基礎資料を作成し、提供することを目的に5年ごとに行う調査。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節	予算額(円)	決算額(円)	内容
報酬	2,062,000	1,828,490	指導員、調査員報酬
需用費	80,000	80,000	事務用品、コピー代
役務費	33,000	20,374	郵送代
合計	2,175,000	1,928,864	

①成果実績または活動実績

農林業経営体調査実施 令和7年2月1日 調査期日(調査期日:調査対象の状況を把握するための基準日)

- 調査の対象:一定規模以上の農林産物の生産、又は委託を受けて農林業を行う世帯や会社等の組織
- 対象数:1455
- 調査期間(調査票の配布、記入、回収を行う期間):12月下旬~2月中旬
- 指導員・調査員人数:指導員6人、調査員67人
- 調査方法: 1 調査員が担当調査区内の農林業作業を行う世帯や会社等の組織を訪問し、所有、耕作する田・畑の面積など聞き取り調査を行う。
(調査対象は前回調査や現地調査等を参考に把握する。)
- 2 聞き取り調査の結果、一定規模以上で農林業生産活動を行っている方に調査票を配布する。
- 3 調査員が調査票を回収する。もしくはオンラインにより回答を行う。
- 主な調査の内容: 経営の状態、世帯の状況、労働力、作業の受託、耕地、農業生産の概況、農産物の販売、経営の多角化、山林・林業作業、素材生産など
- 調査結果の概要を令和7年11月末までに、詳細は令和8年3月末以降に農林水産省ホームページにて公表予定。

②成果または活動の問題点

訪問時の対応や個人情報の取り扱いなどに不安があり、調査員の負担が極めて大きい。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-3-1-4	農林業センサス委託金	3,700	1,928,864	1 報酬	0	1,828,490
				10 需用費	2,000	80,000
				11 役務費	1,700	20,374
	一般財源	0	0			
	計	3,700	1,928,864	計	3,700	1,928,864

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	調査結果は、地方交付税法に基づく交付金算定基礎、食糧・農業・農村白書等、様々な施策立案に利用される。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	産業課、農業委員会等連携を取りながら、適正な調査を実施する。
	解決すべき課題への方策	調査員、指導員とのコミュニケーションを密にとり、サポート体制を強化する。

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	7	少子化対策費	会計名	一般会計
事業名	3	起業促進奨励事業						所属名	未来を創る課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	南部町内で起業、新分野参入、新商品開発を行う個人または法人・団体					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	町内で新たに事業を行おうとする方を支援する。					②魅力ある農林業と商工業の振興			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	南部町の産業の活性化が図られる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ			
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	①なんぶ創生				
		1,290,000 円	1,307,000 円	17,000 円	1.3 %	根拠法令・要綱等				
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	南部町ビジネスチャレンジ応援補助金交付要綱				
		4,300 千円	1,447 千円	△ 2,853 千円	△ 66.3 %	令和6年度執行率	90.32 %			

【事業内容】

南部町ビジネスチャレンジ応援補助金を交付し、町内で起業・新分野参入・新商品開発を行う方を支援する。

(補助内容)

- ①起業支援 補助上限50万円、補助率1/2
- ②新分野参入支援 補助上限30万円、補助率1/2
- ③新商品開発支援 補助上限30万円、補助率1/2

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節	予算額	決算額	摘要
負担金補助及び交付金	1,447,000	1,307,000	決算額の内訳は成果実績に記載
その他補助金			
合計	1,447,000	1,307,000	

①成果実績または活動実績

商工会と、起業等の意欲がある方の情報共有を行うことで、対象者へ支援制度の紹介を行うことができ、新たなチャレンジを応援することができた。

また、補助金の交付申請にあたっては、商工会に事業計画の事前確認を受けることを要件にしており、その際に商工会からの経営指導を行うことができています。

(支援実績)

(単位:円)

支援内容	業種	属性	補助金額
起業	美容業	30代・女性	500,000
起業	製造業(服)	60代・女性	183,000
起業	サービス業(整体)	30代・男性	237,000
新分野参入	コンサル業	30代・男性	115,000
新分野参入	製造業(食品)	50代・女性	272,000
計			1,307,000

②成果または活動の問題点

過去に制度を活用した事業者の詳細な実態把握ができていない。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-1-1	鳥取県市町村創生交付金	453,000	525,000	18 負担金補助及び交付金	1,290,000	1,307,000
	一般財源	837,000	782,000			
	計	1,290,000	1,307,000	計	1,290,000	1,307,000

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	起業、新分野参入、新商品開発にかかる経費を補助することで、意欲ある町内事業者のチャレンジを支援していく。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	商工会との連携及び西部市町村で行っている創業相談窓口などで制度の周知を図り、町内での起業等を増やしていく。
	解決すべき課題への方策	起業等を行った事業者が事業を継続、拡大していくために、商工会と連携しながらの継続的な状況確認や関わりが必要である。

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	7	少子化対策費	会計名	一般会計
事業名	4	結婚支援事業	所属名	未来を創る課						
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町内の独身者、町外在住の南部町出身独身者						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	出会いの場、えんトリー(とっとり出会いサポートセンター)を活用して成婚、また本町への移住を図る。						①移住定住・交流・観光の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	町内での婚姻件数の増加、町内への移住者数の増加。						「五つの挑戦」から見た位置づけ		
							①なんぶ創生 根拠法令・要綱等			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		結婚に向けた出会いの機会等創出事業補助金交付要綱				
	230,000 円	196,858 円	△ 33,142 円	△ 14.4 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	670 千円	267 千円	△ 403 千円	△ 60.1 %						
				令和6年度執行率	73.73 %					

【事業内容】

- ・ 独身者対象の出会いの会を開催する。
- ・ 南部町在住の方を対象に、鳥取県が開設したとっとり出会いサポートセンター『えんトリー』の入会・登録料(10,000円・2年間有効)を一度限り全額負担し、婚活中の方をサポートする。(上限20名)

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節	予算額(円)	決算額(円)	内容
委託料	67,000	66,858	「出会いの会」開催委託料(南部町商工会青年部)
負担金補助及び交付金	200,000	130,000	えんトリー登録料、更新料
合計	267,000	196,858	

①成果実績または活動実績

・「出会いの会」開催

10月27日(日)に開催予定であったが、参加者が集まらず11月16日(土)に延期した。しかし、男性参加希望者5名に対し女性参加希望者が1人だったため開催を中止とした。

<実施予定であった出会いの会の内容>

開催場所:ノームガーデン(ノームの糸車)

企画内容:ピザとハーブチキンピタパン作り、1対1トーク

対象:25歳~35歳位の独身の方。ただし、男性においては南部町在住または在勤の方。

・えんトリー会員登録・更新料全額助成

新規登録:6名(男性3名、女性3名)

令和5、6年度の助成を受けた方のうち、

更新登録:7名(男性4名、女性3名)

計13名

令和6年度に成婚に至った人数 2名

・チラシ配布(商工会会員事業所、町内企業、公共施設)、南部町ホームページ、テレビ役場

・えんトリー出張登録・相談会の開催(予約制、個人面談方式) 参加者人数11名(内、新規登録3名、更新登録1名)

内容:えんトリーのスタッフに出張いただき、えんトリー新規、更新登録と出会いを求める方、そのご家族を対象とした相談会を開催した。 期日:4月27日(土)、5月25日(土)、12月22日(日) 場所:キナルなんぶ小会議室

②成果または活動の問題点

結婚に対する価値観やライフスタイルの多様化への対応が十分にできていない。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-2-1	結婚に向けた出会いの機会等創出事業補助金	82,000	0	12 委託料	165,000	66,858
18-2-4-1	さくら基金繰越金	65,000	0	18 負担金補助及び交付金	65,000	130,000
	一般財源	83,000	196,858			
	計	230,000	196,858	計	230,000	196,858

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

結婚を希望される方が結婚できる環境づくりを進めていく。

②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成できた点をさらに伸ばす方策

令和7年度からえんトリーの登録・更新料は無償となったが、引き続き出張登録・相談会を行い、多くの方の婚活をサポートする。

解決すべき課題への方策

県・近隣自治体と連携、協力して、独身者のニーズ等の把握に努め、これを十分に反映させたいので、事業等を企画・運営していく。

款	4	衛生費	項	2	環境費	目	1	環境衛生費	会計名	一般会計
事業名	5	公衆浴場確保対策事業						所属名	未来を創る課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	物価統制令により入浴料金の統制を受けている公衆浴場である 法勝寺温泉					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	公衆浴場の安定を図り、地域住民の保健衛生を確保する。					⑩快適な生活環境の整備			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	安定した公衆浴場環境を提供できる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ ③健康長寿のまちづくり 根拠法令・要綱等			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		公衆浴場確保のための特別措置に関する法律第6条、南部町公衆浴場確保対策費補助金交付要綱				
	1,466,000 円	1,126,000 円	△ 340,000 円	△ 23.2 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	1,466 千円	1,235 千円	△ 231 千円	△ 15.8 %						
令和6年度執行率		91.17 %								

【事業内容】

1 南部町公衆浴場確保対策費補助金(県補助率1/2)

公衆浴場法第2条の規定に基づく知事の営業許可を受け、かつ、入浴料金について物価統制令第4条の統制額の指定を受ける公衆浴場であって、年度中の営業日数が200日以上の上の事業者が行う運営及び利用促進について補助する。

2 公衆浴場原油価格高騰対策(臨時) ①燃料費高騰分 ②電気料金高騰分(いずれも県補助率1/2)

原油価格等の高騰により影響を受ける事業者に対し、臨時的に①「湯の加温に要する燃料費(実績額)」および②「浴場運営に要した電気使用量に応じた額(定額)」を鳥取県と協調して補助する。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

(円)

節	予算額	決算額	摘要
負担金補助及び交付金	1,235,000	1,126,000	公衆浴場確保対策費補助金 500,000円 公衆浴場原油価格高騰対策(臨時) ①326,000円、②300,000円 交付先/法勝寺温泉(JOCA南部事務所)
その他補助金			

①成果実績または活動実績

営業日数:335日/年 一般公衆浴場の安定的な事業運営が確保されている。

②成果または活動の問題点

燃料費等の高騰により、公衆浴場としての運営は厳しいものとなっている。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-3-4-2	公衆浴場確保対策費市町村補助金	250,000	250,000	18 負担金補助及び交付金	1,466,000	1,126,000
15-2-3-4	公衆浴場原油価格高騰対策市町村補助金	483,000	313,000			
	一般財源	733,000	563,000			
	計	1,466,000	1,126,000	計	1,466,000	1,126,000

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	一般公衆浴場の安定的な事業運営を確保するため、引き続き運営費の補助を行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	鳥取県と連携し、継続的な支援を行う。
	解決すべき課題への方策	公衆浴場として運営していくにあたっての安定した財源について、検討を行う。

款	6	商工費	項	1	商工費	目	1	商工振興費	会計名	一般会計	
事業名	1	商工振興支援事業						所属名	未来を創る課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	商工会、町内中小企業者						総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	商工会の組織強化を支援し、中小企業を経営を支援する。						②魅力ある農林業と商工業の振興			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	町内商工業の活性化、町内中小企業者の事業の継続、発展						「五つの挑戦」から見た位置づけ			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		南部町商工会事業支援補助金交付要綱 南部町中小企業小口融資要綱 南部町小規模事業者経営改善資金融資 利子補給金交付要綱					
	7,119,100 円	10,444,140 円	3,325,040 円	46.7 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減							
	7,204 千円	10,574 千円	3,370 千円	46.8 %							
					令和6年度執行率	98.77 %					

【事業内容】

- ①南部町商工会事業支援補助金
南部町商工会に対して、事業支援として補助金を交付する。
- ②小規模事業者経営改善貸付資金利子補給
南部町商工会と連携し、(株)日本政策金融公庫から融資を受けた事業者に対し、利子の一部を補給金として交付する。事業者の負担軽減及び経営安定を図り、意欲ある事業者の事業の継続・発展を支援する。
- ③中小企業小口融資
中小企業者への融資事業として、県及び信用保証協会等と連携して、小口融資制度を継続する。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節		予算額	決算額	摘要
負担金補助及び交付金	その他補助金	5,781,000	5,651,140	・商工会事業支援補助金 ・経営改善貸付資金利子補給
貸付金	貸付金	4,793,000	4,793,000	中小企業小口融資
合計		10,574,000	10,444,140	

①成果実績または活動実績

(1)南部町商工会事業支援補助金

実績額 5,636,540円

内容:商工会運営支援のほか、電子マネー事業の利用促進に活用。

(内訳)

事業種別	補助金額	摘要
商工会運営支援	2,900,000	定額補助
電子マネー事業	2,736,540	ポイント5倍デー、システム利用料 等
合計	5,636,540	

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
20-3-1-1	中小企業貸付金元利収入	3,848,000	4,793,000	18 負担金補助及び交付金	3,271,100	5,651,140
				20 貸付金	3,848,000	4,793,000
	一般財源	3,271,100	5,651,140			
	計	7,119,100	10,444,140	計	7,119,100	10,444,140

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	今後も南部町商工会、町内商工業者、中小企業者への支援を継続する。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	商工会を中心として、健全経営の指導が行えている。 今後も南部町商工会及び町内商工業者への支援、中小企業の運営支援を継続する。
	解決すべき課題への方策	商工会を通じて、経営改善貸付資金や中小企業小口融資の制度周知を丁寧に行っていくことで、きめ細やかな企業支援に努める。

事業名	1	商工振興支援事業	所属名	未来を創る課
-----	---	----------	-----	--------

(2)経営改善貸付資金利子補給
 交付件数2件 実績額14,600円
 (3)中小企業小口融資
 新規融資実行件数5件 実績額4,793,000円
 (内訳)

事業者	融資額	協調割合	預託額
前年度残高(合銀)	10,062,000	1/8.4	1,197,000
前年度残高(米信)	12,384,000	1/6.6	1,876,000
塗装業	1,000,000	1/8.4	119,000
内装業	3,000,000	1/6.6	454,000
サービス業	3,650,000	1/8.4	434,000
小売業	4,000,000	1/6.6	606,000
美容業	900,000	1/8.4	107,000

計 4,793,000

②成果または活動の問題点
 国際的な情勢、物価高騰等を要因として、融資を必要とする企業が増加傾向にある。

款	6	商工費	項	1	商工費	目	1	商工振興費	会計名	一般会計
事業名	3	みんなで頑張る地域活性化支援事業					所属名	未来を創る課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	民間事業者または団体					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	民間事業者等が主体となり、連携した新たな取組を支援する。					②魅力ある農林業と商工業の振興			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	本町ではあまり行われていない事業者間の連携を促進することで、連携による+αの成果の発生に期待ができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ			
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	南部町みんなで頑張る地域連携応援事業補助金交付要綱、南部町お得意簡単町内消費活性化支援事業補助金交付要綱				
		0円	103,000円	103,000円	100.0%					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度	100.00%			
		500千円	103千円	△397千円	△79.4%	執行率				

【事業内容】

地域活性化のため、民間事業者等が主体となり連携した新たな取組を支援するほか、外国人観光客等の受入環境の整備を図っていく。

【決算の状況】

(計画)及び(実績) (単位:円)

節		予算額	決算額	摘要
負担金補助及び交付金	その他補助金	103,000	103,000	みんなで頑張る地域連携応援事業補助金(株)トリーカ米子工場
合計		103,000	103,000	

①成果実績または活動実績

○みんなで頑張る地域連携応援事業補助金

民間連携の自主事業(イベント等)に対して経費を支援

【補助率】 3/4 【上限額】 200千円

…実績1件、補助額103,000円

(内容)株式会社トリーカ米子工場の外国人実習生24名が日本文化を体験するイベントをR6.12.7に開催。

本事業によって、町内企業の外国人実習生が日本文化を学びながら高姫地区の方々(高野女生産組合)と交流する機会が生まれ、多文化共生へのきっかけを作ることができた。

○お得意簡単町内消費活性化支援事業補助金

Wi-Fi環境整備等の施設整備に要する経費、外国語案内ツールの整備に要する経費等を支援

【補助率】 1/2 【上限額】 50千円

…実績なし

②成果または活動の問題点

制度周知をホームページのみでしか実施していなかったため、制度の活用が1件のみであった。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				18 負担金補助及び交付金	0	103,000
	一般財源	0	103,000			
	計	0	103,000	計	0	103,000

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

民間事業者同士の連携を促進することで地域活性化を図るほか、外国人を受け入れるための環境整備を促進する。

②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成できた点をさらに伸ばす方策

民間事業者同士の連携を支援することで、行政主導ではない新たな発想の取組が期待できる。

解決すべき課題への方策

町内事業者へ直接、事業の説明に伺うなど、積極的な広報が必要である。

款	6	商工費	項	1	商工費	目	1	商工振興費	会計名	一般会計	
事業名	7	地域経済変動対策資金利子補給事業					所属名	未来を創る課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	新型コロナウイルスや燃油等高騰、為替相場急変などの影響により経営が悪化している事業者					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	利子を補給することで町内事業者の負担軽減を図る。					②魅力ある農林業と商工業の振興				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	新型コロナウイルスや燃油価格高騰、為替相場急変などで経営が悪化した事業者が、経営安定化等に資する円滑な資金調達を行うことができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ				
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	南部町新型コロナウイルス感染症対策資金利子補助金交付要綱、南部町地域経済変動対策資金利子補助金交付要綱					
		3,808,151 円	5,047,278 円	1,239,127 円	32.5 %						
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
		4,590 千円	5,733 千円	1,143 千円	24.9 %						
					令和6年度執行率	88.04 %					

【事業内容】

新型コロナウイルス感染症や燃油価格高騰、為替相場急変などの経済変動事象によって町内事業者への影響が深刻化していることから、県の地域経済変動対策資金制度融資に合わせ、融資を受けた資金について利子を補給することで事業者の負担を軽減する。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

(単位:円)

節	予算額	決算額	摘要
負担金補助及び交付金	5,733,000	5,047,278	内訳は①成果実績に記載
合計	5,733,000	5,047,278	

①成果実績または活動実績

以下の経済変動事象を原因とした融資に対し、利子の補助を行った。

為替相場の急変に関する利子補助については、事業者からの要望に応じ、年度途中で要綱を改正し補助対象に追加した。

支援対象の経済変動事象	補助対象者	補助件数(単位:件)	補助金額(単位:円)	摘要
新型コロナウイルス感染症	対象融資を行った金融機関	5	4,659,486	金融機関を通じて利子補助を受けた事業者は174事業者
燃油及び原材料価格の高騰、円安	対象融資を受けた事業者	0	0	
為替相場の急変		2	387,792	
合計		7	5,047,278	

②成果または活動の問題点

国内外の情勢の変化を受け、新たに支援が必要な経済変動事象が次々と発生している。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-9-1	鳥取県新型コロナウイルス利子補給補助金	1,904,000	2,515,643	18 負担金補助及び交付金	3,808,151	5,047,278
15-2-9-1	鳥取県燃油及び原材料価格高騰・円安支援補助金	0	0			
18-2-7-1	新型コロナウイルス感染症対策資金利子補助基金	1,904,151	2,331,486			
	一般財源	0	200,149			
	計	3,808,151	5,047,278	計	3,808,151	5,047,278

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	県の融資制度に合わせ、町の利子補給を継続する。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	町内事業者の融資にかかる利子を補給することで、事業者の負担軽減が図れ、事業の継続につながる。
	解決すべき課題への方策	県などから提供される情報を基に、支援についての速やかな検討を行い、メニュー追加を行っていく必要がある。

款	6	商工費	項	1	商工費	目	1	商工振興費	会計名	一般会計
事業名	8	地域活性化ポイント導入事業						所属名	未来を創る課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町民、地域の事業者						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	町内のみで使用できる電子マネーを導入することで、町外への消費流出を防ぎ、地域内経済を活性化する。						②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地域内経済循環の実現、キャッシュレス化の推進、行政事業の参加促進						「五つの挑戦」から見た位置づけ		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減					
		114,054,027 円	46,472,237 円	△ 67,581,790 円	△ 59.3 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度				
		122,986 千円	53,810 千円	△ 69,176 千円	△ 56.2 %	執行率	86.36	%		

【事業内容】

将来的に町内で買い物等ができる環境を維持していくため、町内店舗のみで使用できる地域通貨を導入し、地域内の経済循環を実現する。地域通貨「たすカード」は、現金チャージや加盟店で買い物、また行政イベントへの参加によってポイントが付与される仕組みである。付与されたポイントは加盟店での買い物に利用できるため、お得に買い物ができ、町内店舗での消費を促進することができる。

【決算の状況】

(計画)及び(実績) (単位:円)

節	予算額	決算額	摘要
需用費			
消費品費	15,000	4,328	封筒、ロール感熱紙
印刷製本費	276,000	207,818	カード印刷代
役務費			
通信運搬費	196,000	26,378	転入・出生者カード郵送代、転出・死亡者カード返送代
使用料及び賃借料			
使用料	123,000	73,920	システム使用料
負担金補助及び交付金			
その他負担金	51,000,000	45,375,200	物価高騰対策分(町民1人5,000ポイント) 支払先:南部町商工会
	2,200,000	784,593	行政ポイント付与分 支払先:南部町商工会
合計	53,810,000	46,472,237	

①成果実績または活動実績

○現金チャージポイント5倍デー、3倍デーの実施(R6.7～毎月第3金曜日に実施)

○物価高騰対策として全町民に1人5,000ポイントを配布。

使用期間:R6.12.25～R7.3.31

配布金額:5,000円×10,153人=50,765,000円

使用金額:45,375,200円

使用率 :89.4%

○たすカードを活用したポイント給付(中学校入学祝い金、あいのわ銀行など)

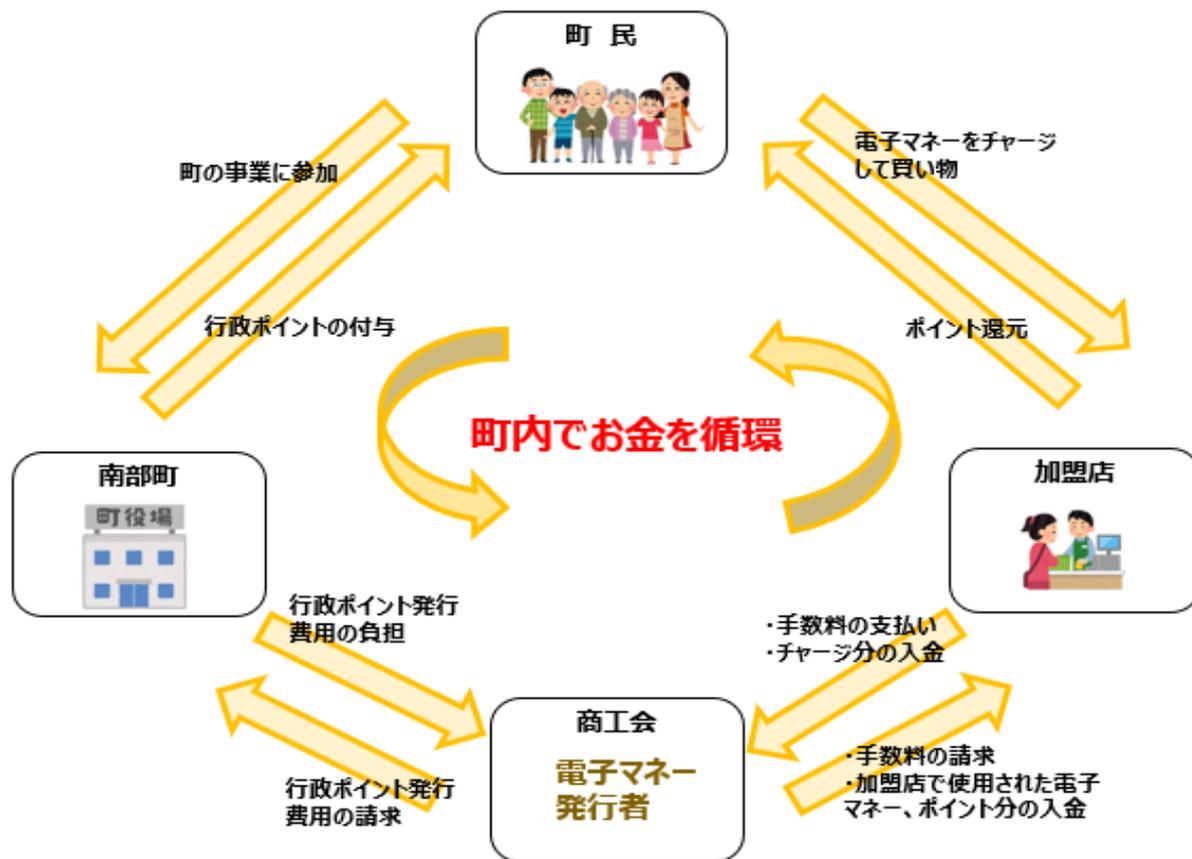
(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
14-2-1-1	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	8,129,226	0	10 需用費	35,388	212,146
14-2-1-1	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	30,094,000	45,014,000	11 役務費	1,940,996	26,378
14-2-1-14	デジタル田園都市国家構想推進交付金	8,924,175	0	12 委託料	13,942,335	0
18-2-4-1	さくら基金繰入金	0	784,593	13 使用料及び賃借料	30,800	73,920
				18 負担金補助及び交付金	98,104,508	46,159,793
	一般財源	66,906,626	673,644			
	計	114,054,027	46,472,237	計	114,054,027	46,472,237

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	町内事業者(商工会)と行政が協力して町内消費の魅力を高め、町外への消費流出を食い止めることで、町内の買物環境を確保していく。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	物価高騰への給付事業にたすカードを活用することで、速やかに町民に届けることができ、これらのメリットを広報等によりわかりやすく伝えることで、通常時の利用を促していく。
	解決すべき課題への方策	利用者及び加盟店舗の拡大を目指して、二次元コード決済を導入するなど、利便性の高い仕組みとなるよう改善を図っていく。

【事業イメージ図】



【利用実績】

	R5 (11~3月)	R5 1日平均	R6	R6 1日平均
ポイント利用額	97,110,335	638,884	52,201,868	143,019
電子マネー利用額	38,955,818	256,288	113,000,798	309,591
利用総額	136,066,153	895,172	165,202,666	452,610
チャージ総額	43,982,000	289,355	115,438,000	316,268

・R5は1人10,000円分のポイント給付を実施。

・加盟店舗数 R7.3末 22店舗 (R6.4末 25店舗)
 加盟率21% (町内の小売業、サービス業、飲食業の事業者数から算出)

②成果または活動の問題点

現金チャージを行って買い物をする利用者の少なさや操作の手間を理由とした加盟店の脱退が課題となっている。

款	6	商工費	項	1	商工費	目	2	観光費	会計名	一般会計
事業名	1	広域観光推進事業					所属名	未来を創る課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	・町外者 ・観光関係の各種団体					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	・南部町をPRし、南部町への誘客を促進する。 ・観光情報の共有化、観光事業の共同開催。					①移住定住・交流・観光の推進			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	観光客の増加により、町内飲食店、みやげ店の売り上げ増などの経済効果が生まれる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	①なんぶ創生 根拠法令・要綱等 ・なんぶ創生総合戦略(観光地の魅力向上、受入環境の整備) ・南部町コンベンションビューロー補助金交付要綱					
	6,970,391 円	5,458,853 円	△ 1,511,538 円	△ 21.7 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					令和6年度執行率	96.55 %
	7,446 千円	5,654 千円	△ 1,792 千円	△ 24.1 %						

【事業内容】

- 南部町の観光関係情報の発信を行う。
 - 県内外の観光団体と連携し、南部町をPRする。観光パンフレットやイベントチラシ等の送付。
 - 売店運営。
- コンベンションビューロー補助金
 - 財団法人とっとりコンベンションビューローが南部町にコンベンションを誘致することに対して財政的に支援を行う。コンベンション定義・・・学術会議、大会、集会、研究会、コンクール、スポーツ大会、企業コンベンション、合宿など

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節	予算額	決算額	摘要
需用費	30,000	10,238	事務消耗品等
役務費	20,000	0	
負担金補助及び交付金	その他負担金	1,074,000	1,032,007 大山山麓・日野川流域観光推進協議会(776,007円) 日本さくらの会賛助会費(5,000円)、米子空港PR負担金(11,000円) 鳥取県観光連盟会費(240,000円)
	その他補助金	4,530,000	4,416,608 広域観光観光推進事業 4,379,108円(南部町観光協会) コンベンションビューロー 37,500円(とっとりコンベンションビューロー)
合計	5,654,000	5,458,853	

①成果実績または活動実績

- 南部町の観光関係情報の発信を行う。
 - 観光PRイベントへ参加(しまなみ、関西等)、観光団体への負担金
 - 観光協会補助金(広域観光推進)、赤猪岩神社前売店の運営
 - 観光パンフレット等設置、イベント等での広報
- コンベンションビューロー補助金
 - 合宿誘致にかかる補助金1件 (大谷大学)

②成果または活動の問題点

観光情報の発信を求める声が聞かれたが、SNS等を利用した情報発信が十分にできなかった。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
14-2-1-1	地方創生推進交付金	595,049	0	10 需用費	30,000	10,238
				11 役務費	385	0
				18 負担金補助及び交付金	6,940,006	5,448,615
	一般財源	6,375,342	5,458,853			
	計	6,970,391	5,458,853	計	6,970,391	5,458,853

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	本町と同じ方向で観光振興に資する事業を展開している各団体へ参画・支援することで、新しい視点での取り組みが可能となる。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	今後も継続して各団体への参画・支援を行っていく。特に南部町観光協会と連携して、イベントの企画・準備・実施を行っていく。
	解決すべき課題への方策	観光客増加、消費増加に向けてSNSを活用した情報発信(特にInstagram)に力を入れていく。

款	6	商工費	項	1	商工費	目	2	観光費	会計名	一般会計	
事業名	2	体験型観光推進事業					所属名	未来を創る課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	地域の人材、資源					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	体験型観光の素材の掘り起しとメニュー化、農家民泊受入家庭の確保。					①移住定住・交流・観光の推進				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	里地里山環境等の資源を活かした体験型観光メニューにより、長く滞在できる施設が少ない、お金を落とす場所が少ないといった課題解決の糸口とする。					「五つの挑戦」から見た位置づけ				
							①なんぶ創生 根拠法令・要綱等				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	なんぶ創生総合戦略(体験型観光の推進、受入環境の整備) 南部町観光協会補助金交付要綱						
	5,846,597 円	6,220,106 円	373,509 円	6.4 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						令和6年度執行率	82.75 %
	7,320 千円	7,517 千円	197 千円	2.7 %							

【事業内容】

1 体験型観光推進

町内にある自然や歴史、文化、産業、建築物など、あらゆるものを観光資源ととらえた体験メニューの企画・運営などの業務を担うことで、南部町体験観光事業の定着と拡大を図っていく。

2 農泊推進事業

農泊事業者の新規開拓、既存事業者との連絡調整を図り、宿泊や日帰り体験の受け入れを促進する。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

節	予算額	決算額	摘要
負担金補助及び交付金	7,517,000	6,220,106	体験型観光推進事業 6,220,106円(南部町観光協会)

①成果実績または活動実績

1 体験型観光推進事業(観光協会補助金)

実績:6,220,106円

主な活動

- ・富有の里マルシェ、さくらスタンプラリー等開催
- ・オリジナル商品の開発販売
- ・ホームページ、SNS等を活用した観光情報の発信
- ・観光商談会への参加や情報発信による誘客
- ・なんぶ便の開発、販売

2 農泊推進事業

新規農泊事業者実績なし

②成果または活動の問題点

- ・外国人など幅広い層に、南部町の特産品を購入してもらうためのキャッシュレス決済の仕組みができていない。
- ・新たに農泊体験を受け入れようとする人をサポートする体制ができていない。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				18 負担金補助及び交付金	5,846,597	6,220,106
	一般財源	5,846,597	6,220,106			
	計	5,846,597	6,220,106	計	5,846,597	6,220,106

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	今後も、未来を創る課と協働で観光振興に資する事業を展開し、各団体へ参画・支援をすることで、新しい視点での取り組みが可能となる。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	今後も継続して各団体への参画・支援を行っていく。また、富有の里マルシェなどのイベントを南部町観光協会と連携して行うことで観光PRにつなげていく。
	解決すべき課題への方策	多言語化、キャッシュレス化に向けた準備を行い、より多くの層に対応できる状態にする。農泊体験など体験メニューを提供する方のサポートをする体制づくりを検討していく。

款	6	商工費	項	1	商工費	目	2	観光費	会計名	一般会計	
事業名	3	観光資源等魅力向上事業					所属名	未来を創る課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町内の観光資源					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	観光資源の保全・活用を図る。					①移住定住・交流・観光の推進				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	維持管理された観光資源に町内外からお越しいただき、南部町の里地里山環境を知っていただくとともに、美しい景色を楽しんでいただくことができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ				
							①なんぶ創生 根拠法令・要綱等				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		なんぶ創生総合戦略(観光地の魅力向上、受入環境の整備) 南部町観光協会補助金交付要綱					
	2,476,246 円	2,670,673 円	194,427 円	7.9 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減							
	2,717 千円	3,159 千円	442 千円	16.3 %							
			令和6年度執行率	84.54 %							

【事業内容】

法勝寺川の桜並木をはじめとする町内の観光名所、地域資源を保全、活用していく。

【決算の状況】

(計画)及び(実績) (円)

節	予算額	決算額	摘要	
報償費	477,000	420,000	桜、史跡等周辺環境整備謝礼母塚山、こもれび広場管理謝礼	
需用費	消耗品費	96,000	836	さくらまつり消耗品費
	印刷製本費	264,000	210,100	ポスター、パンフレット
	光熱水費	197,000	100,478	ぼんぼり電気料金
役務費	広告料	50,000	50,000	観光情報広報誌広告料
	手数料	48,000	35,256	トイレ汲み取り手数料
	保険料	13,000	3,583	火災保険料
委託料	1,554,000	1,425,600	観光施設整備委託 143,000円(テー・エム・エス) 171,600円(増田工務店) 桜並木害虫駆除委託 572,000円(鳥取県西部森林組合) 桜並木維持管理業務委託 539,000円(鳥取県西部森林組合)	
使用料及び賃借料	460,000	424,820	仮設トイレ借上料 清水井駐車場土地借上料 一式飾り常設展示場土地借上料 さくらまつり仮設トイレ借上料	
合計	3,159,000	2,670,673		

①成果実績または活動実績

・さくらまつりの集客も増え、集落、団体と連携をとり観光施設の維持管理を行えた。

②成果または活動の問題点

・観光施設看板の老朽化が進んでいるため、壊れる前に修繕、撤去を行う必要がある。
・桜の枝が雪で折れるなど、車の走行に支障をきたしたことがあった。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
18-2-4-1	さくら基金繰入金	450,000	0	7 報償費	450,000	420,000
				10 需用費	454,365	311,414
				11 役務費	47,425	88,839
				12 委託料	1,089,110	1,425,600
				13 使用料及び賃借料	435,346	424,820
	一般財源	2,026,246	2,670,673			
	計	2,476,246	2,670,673	計	2,476,246	2,670,673

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	南部町の観光資源を適切に管理し、観光誘客の拡大につなげる。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	観光客のニーズを把握し、より多くの観光客にお越しいただくためのイベントや観光資源の維持管理を行う。
	解決すべき課題への方策	点検の回数を増やす。関係団体と連携し、優先順位をつけ効率的な維持管理を行っていく。

款	6	商工費	項	1	商工費	目	2	観光費	会計名	一般会計	
事業名	4	まちなのえき管理運営事業					所属名	未来を創る課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	まちなのえき					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	・高齢者等の社会参加を通じた生きがいづくりの場とする。 ・南部町観光案内所を設け、観光の拠点とするとともに、町内外の方が交流を図るふれあいの場として活用する。					①移住定住・交流・観光の推進				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	施設の設置目的に合致した施設の有効活用が図られ、多くの人でにぎわう。					「五つの挑戦」から見た位置づけ				
							①なんぶ創生 根拠法令・要綱等				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	なんぶ創生総合戦略(受入環境の整備) 南部町交流の館条例						
	891,442 円	897,702 円	6,260 円	0.7 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度						
	1,185 千円	1,207 千円	22 千円	1.9 %	執行率	74.37 %					

【事業内容】

- ・ 交流の館(法勝寺)の施設管理を行う。
- ・ 直営管理施設として運営し、法勝寺まごころ市・JA鳥取西部(ATM)に施設を貸出し活用することで、地域交流の拠点として機能する。
- ・ 観光協会事務所を設置し、観光協会と連携することで町民のふれあいの場を創出する。

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

(円)

節	予算額	決算額	摘要
需用費	消耗品費	18,000	10,206 トイレtpペーパー等
	光熱水費	681,000	469,051 ガス代、電気代、水道代
役務費	通信運搬費	192,000	156,622 電話料金
	手数料	6,000	5,200 浄化槽法定検査料
	保険料	36,000	35,859 火災保険料
委託料	委託料	210,000	157,404 浄化槽維持・清掃管理 83,050円(みつわ環境開発) 複合機保守管理 74,354円(ケイズ)
使用料及び貸借料	借上料	64,000	63,360 コピー機リース料
合計	1,207,000	897,702	

(収入)

まごころ市電気使用料	101,800 円
JA 電気使用料	96,000 円
ATM貸付料	93,720 円
計	291,520 円

①成果実績または活動実績

- ・ 観光協会と連携し日常的な往来だけでなく、催しを交流の館で開催し、竹あかり作り体験等(講師は町内の方)を行い、交流の機会をつくった。
- ・ 事故等なく安全な管理を行えた。

②成果または活動の問題点

- ・ 更なる魅力のある拠点を目指すため複合施設との連携を強化していく必要がある。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
16-1-2-1	町有地貸付収入(まちなのえき(交流の館))	93,720	93,720	10 需用費	485,177	479,257
20-5-5-1	まちなのえき(交流の館)電気使用料等	197,800	197,800	11 役務費	185,693	197,681
				12 委託料	157,212	157,404
				13 使用料及び貸借料	63,360	63,360
	一般財源	599,922	606,182			
	計	891,442	897,702	計	891,442	897,702

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	観光協会との連携を図りながら適切な施設管理を行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	観光協会との連携を図りながら適切な施設管理を行い、使用団体とも協働し交流の拠点となる運営を行っていく。
	解決すべき課題への方策	複合施設とも連携し、新たな交流が生まれるようなふれあいの場づくりを目指していく。